京城日報

時間表

[illegible]

大正七年七月一日改正現行

本紙定價 壹部金參錢 壹箇月七十五錢 ▲郵稅 ▲半箇年金四圓二十五錢 ▲一箇年金八圓五拾錢
廣告料金 五號活字一行 ▲一圓 ▲特別 ▲二圓 ▲三圓
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 編輯 ▲營業 ▲[illegible] 振替京城三〇〇番

十二月十一日夕刊 (朝夕併せて八頁)

◇米國宮殿下歡待

東伏見宮殿下は七日夕華盛頓に御到著米國々賓として陸軍式儀禮を以て迎へられ沿道の歡迎頗る盛んなり(華盛頓電報)

◇過激派クーデター失敗

伯林リーブクネヒト軍遁走

リーブクネヒト及びスパルタカス團の計畫せし過激派の伯林に於けるクーデターは無殘なる失敗を爲しリーブクネヒト軍は多數の死傷者を遺棄して遁走せり政府軍の損害は輕微なるもリーブクネヒトは再び軍兵を糾合す可く言明したるを以て多分戰鬪再開す可し(倫敦電報)

◇伯林二運動形勢

伯林の形勢は明瞭ならざるも二個の運動行はれ居れるが如し(一)はスパルタカス團の政權獲得(二)は兵士等の社會過激派に對する運動なり(倫敦電報)

◇前獨帝私信搜索

倫敦來電＝獨逸エッセンに於て發行するアルゲマイネツアイツング紙は戰爭に對する前獨帝の罪狀を確定する爲め必要なる書面を發表せんとする目的を以て各地の宮殿に於て前獨帝の私信の搜索を開始せり(東京特電)

◇聯合内閣勝利か

ロイドジョージ氏優勢

英國總選擧に於ける顯著なる現象はロイドジョージ氏の人物重きを爲し勢力振へる事是れ也聯合内閣は容易に勝利を得可しと信ぜらる其綱領の主なる點は『眞に强硬に其主張を貫徹し講和を結ぶ可し』と謂ふにあり(倫敦電報)

◇萬國商業團會議

米國商業會議所にては成る可く速かに萬國商業團體會議を開き全世界を通じて國際經濟共同政策を採用せしめんとする計畫に贊成せり(紐育電報)

◇鹽税徵收妨害と警告

支那政府は南方が鹽税徵收を妨碍するに就き之が防止を四國公使團に要求せるより公使團は軍政府に警告を與ふ可しと(北京特電)

◇我派遣軍改稱

我が西伯利派遣軍は十二月一日より守備軍と名稱を改めらる(浦鹽電報)

◇植民地出張所併合

朝鮮、臺灣、樺太、關東州各植民地の東京出張所は今回之を共同建物内に移す事と爲し明年度豫算に數十萬圓を計上要求せりと(東京特電)

◇支那使節出發

支那講和使節陸徵祥氏一行は十日午後横濱解纜の諏訪丸にて渡米の途に就けり(東京特電)

◇協會長辭任

東洋協會長小松原英太郎氏は今回東洋協會々長を辭任せり(東京特電)

◇張督軍動靜

晉京中なりし張奉天督軍一行は十日正午特別列車にて遼陽驛著馬純[illegible]領、吳中將等は九日山海關驛迄出迎へたり(奉天特電)

◎辭令

十二月五日附左の通り辭令ありたり

總督府中樞院贊議男爵 閔商鎬
總督府中樞院顧問被仰付(年手當千六百圓下賜)

趙羲聞
總督府中樞院贊議被仰付(年手當千二百圓下賜)

休職黃海道長官 趙羲聞
依願免本官

總督府囑託 今村重識
任總督府通譯官(六等)
總督官房外事課勤務ヲ命ス

◎歲晚財況

槪して平穩か

足立十八銀行取締役談

▲越年無事 歲晚の景況も下旬に入らざれば確たる事は言ひ難い然し乍ら刻下の實勢より視れば京城を初め朝鮮内各要地共無事平穩裡に越年すべしと思はる、素より小商人の倒産や思惑にのみ走る者で打撃を蒙むるもの出づるは各地共若干は免れ難からん然も大勢は之等によつて動かされぬであらう予は何等か特發の事件にても生ぜざる限り財界に波瀾の湧起を見る事はあるまいと思つてゐる

▲商況活潑 一般市中の商況は諸品未曾有の高値を呈し居るに拘らず賣行豫想外に活潑なやうだ之れ地方農家の生産品昂騰に伴なふ懷ろ合の潤澤が購買力を增進せしめたのであらうと思ふ又商人の利得俸給生活者の收入增加等も一般の金廻りをよくせしめつゝありと云ひ得べく活氣は昨冬程ないにしても賃貸のある商狀は之れを本年に見ると稱して差支ない又商家信用資産の增加と物價の騰貴とは相俟つて各種の取引數字に未曾有の膨脹を見せてゐる

▲市場取引警戒 市場に於ける取引上の警戒は一般講和の聲の盛んに聞へ出した時から何れも反動を覺悟し例へば仕入品の如きも手控へてゐると云ふ狀態であつた休戰となり講和も近からんとし大阪では時局商人の倒産者を少からず出してゐるやうだが京城の如き某洋行支店に不祥事が生じた事あるやに噂されたけれど事實大した怪我人も出さずに濟むらしい要するに朝鮮は時局のために暴富を得たと云ふ者は殆んどない、利益を積んだ商人は多くても夫れはジリ〳〵儲けて行つたのであり從つて休戰講和の聲が俄に起つても内地程酷い反動は來ないやうである又大阪の一部の恐慌の如きは破産者並にその周圍が餘りに騷ぎ過ぎるため火の手を益々大にするに非ずやと思ふ、朝鮮も若し不幸にして信用を失ふ者を生じた所で銀行家もその當人も周圍も慌てず善後策を講ずるやうにしたい、怪我人を多く出さゞらんとするには狼狽は禁物である

▲廻米の增加 本年豐作に拘らず廻米の不振は一種異樣の觀あるも之れ收穫遲延より來れりと見るべく然も近來群山並に仁川方面に於ては漸くその出廻り繁忙となりたるやうである、値もよしいかに農家の懷がよくとも歲末の決濟資金も入るのであらうから今後出穀は暮の切迫に伴ない漸增し來るべしと信ぜらる、唯その値頃は廻米期に入り内鮮共に供給不足の懸念を生み漸騰して來たので仁川の先限が三十一圓五十錢と云ふのは豫想外の昂騰である、その反動の來るや否やは容易に分からぬけれど少くも今日の値頃は天井に近いものではあるまいかと思はれる

◎年賀郵便取扱規程改正

持地遞信局長官は年賀郵便取扱規程中改正を爲し來る十五日より之を施行する所となせり

▲右に依れば 從來取扱規程第八條内地行の下括弧中(各野戰局)を(青島守備軍各局)に、第九條道府縣の下括弧内(各野戰局)を(青島守備軍管内各局)に又(在山東省各野戰局)を(青島守備軍管内各局)に又同條の二滿洲行の下括弧中(各野戰局)を(青島守備軍管内各局)に何れも改め青島の下括弧内を削り(濟南)を加へ更に同條滿洲行集中局に於ては前條に依る宛地區分を爲し當該地局宛大行囊締切と爲したるものゝ除く外更に左の區域毎に區分し各其宛名又は係員宛

▲大行囊締切 と爲し立つべし但し係員宛行囊の表札には區域名を附記すべし又(二)以下の區域に達するものにして各別に締切こ爲すべき數量なきものは一區域毎に把束し宛地把束のものと合して安奉線係り員締切ることを得こなせり

區域	宛名
(一)安東縣局及び大連灣局行	安東縣局
(二)鳳凰城本溪湖各局行	安奉線係員
(三)奉天局以北各局所行 撫新民府局及び北支那各局行蘇家屯撫順線各局	安奉線係員
(四)蘇家屯以南各局行	安奉線係員
(五)青島守備軍管内各局行	濟南局

滿洲及び青島行水路便受け渡局に於て該水路便に依り直接差立つる場合は前項の區域區分を爲さず各其の受け渡局毎に締切り差立つ可しと爲せり

◎戰後の朝鮮貿易

前途の多望を觀取す

鈴木度支部長官談

過去五箇年間に亘り莫大の戰費と兵員とを犧牲に供し世界の各方面に亘りて深甚なる影響を與へし歐洲大戰亂も獨逸の降服に等しき休戰に依りて平和の招徠すべき事確實となるや戰後各國の經濟界の變調殊に戰時非常なる膨脹を爲せる

▲我貿易界は 果して今後如何に、移し變轉を來すべきかの最も注目に値すべく或は悲觀に或は樂觀に諸種の論議所在に行はれつゝあり而して朝鮮は戰亂終熄に依て如何なる影響を來すべきや朝鮮の貿易は經濟の發達に伴なひ漸次增進の趨勢を示し殊に併合後に於ては總督府の産業上に於ける諸般の施設は歩を進め民間企業頓に興隆し漸次著しき發展を示しつゝありしが戰亂の影響に依り最近甚だしき進展を示し本年の如きは輸移出貿易總額に於て三億圓の上に出でんとする形勢にあれど之を内地の貿易の增加率に

▲比較すれば 未だ微小なるものと云はざるを得ず經濟組織の幼稚なる朝鮮に在りては千載一遇とも云ふ可き財界の膨脹殷盛を極めたる戰亂中にありても充分に其能力を發揮して利益の享有に與るを得ざりしなり現に特に戰爭の影響として貿易上に現はれ來りしは漸く昨年の事にして大體より見て朝鮮としては直接的ならずして間接的餘澤に浴せるに過ぎず此點甚だ遺憾とする所なるも此間接的影響は又戰爭終熄に依り内地に於て萬一不景氣時代を現出するも其影響も亦急激に來る事は信ず可からず又緩慢に影響する事ありとするも戰後朝鮮貿易が退歩するや否やは甚だ疑問とせざるを得ず何故なれば朝鮮は特に

▲戰時工業と 目す可きもの無かりし如く又特に戰時經濟を有せざりしなり内地に在りては戰時事業の發達異常なるものあり戰時經濟は平和來に依り當然平調に還る事となる可く戰時工業には影響する處あらんも之とて事業家の多くはよく今日ある事を夙くより豫想し戰時中利得せる豐富なる財力を以て之に對應する策を講じ慎重に研究し居りたる筈なれば必ずしも事業界が萎縮するものとは見る可からざるなり況んや朝鮮に在りては戰後財界の恐慌と稱すべきものを豫想する能はざるなり事實に於て本年の如き穀價の昂騰は農を以て主たる産業とせる朝鮮としては農民經濟の膨脹著しきものあり惹ては産業開發上

▲好影響を與へ 輸出貿易に現はれたる米雜穀棉花類等は勿論其他に於て非常なる活躍を示すに至れり而して今後穀價の趨勢を觀ふに現在の騰昂時代に比し幾分低下緩和するに至らんも戰前の如く穀物廉價時代は再び來る事あるべからず棉花の如きは日本として朝鮮を除外して他に生産を望む可からざるなり然も品質の優良なる朝鮮棉花が輸入品に壓倒さるゝが如き事無きなり生絲は米國の禁輸解除に依り好況を呈す可し絹は元來滯貨品として持扱はれたるも近時絹を以て諸種の製作原料とし使用する傾向益增大し今後は實用品として扱はる可きものなれば之又

▲戰後益有望 なるべし鑛産物に於ても戰爭の爲特に好況を呈したる物は別とするも一般鑛業界は將來益々發達す可きは疑ふに難からず鐵の如き戰時非常なる好況を續けたりとて戰後を悲觀するものあれど余の見地を以てすれば決して然らず世界に於ける鐵の需要は産業の發達に伴なふ諸機械の製作に依り益々增加すべきは逆睹するに難からず又戰時中使用を差控へたる向も甚だ多く戰後之が需要を喚起するに至らば却つて戰時同樣の好況時代を持續するものと云ふを得べし從來の朝鮮は國際貿易關係は諸外國中支那を主とし其他は殆んど云ふに足るものなく總て他は内地を通じての

▲貿易關係を 保つに過ぎず經濟狀態の幼稚なる已むを得ざりしが今後は西伯利、滿洲、蒙古、北支那等に於て密接なる貿易關係を生ずるに至る可く南支那南洋方面又有望にて戰後航海の安全と船舶の增加は之等との貿易關係を助成するに充分なり以上述ぶる所を以て戰後の朝鮮貿易を觀測するに決して悲觀すべきに非ず愈々進展すべき機運に在り而も一部生産原料の輸移入稅撤廢の施行せらるゝあり相俟て産業界の活躍期して待つべく前途多望なりと云はざるべからず

◎是れ戰爭の結果

英婦人の投票六百萬人 男女の勞銀は現に同等

十二月十四日の英國の總選擧には同國の女三十歲以上の者六百萬人が下院議員選擧に投票する保守主義の英國に於て何故女が斯の如き權利を得るに至つたかと云へば皆

▲戰爭の結果 である而して總ての方面に於て女の勢力が增加して來る、有名な經濟學者レオーセット夫人(七十二歲)が最近の『現代評論』で女の勞働者も男の勞働者と同じ賃金を得べきものであると云ふ事を主張してゐる。現に英國では大抵同じ給料になつてゐる、其理由は女の爲めのみでなく、實は男の勞働者を保護する爲である。戰時に於て英國が壯丁を戰線に要する爲市中の電車乘合自動車の車掌を引揚げた時代りに女を車掌にする事にした其時

▲女も男も同給 を受くる規則にした、夫れは男が戰爭に行つて死生の境に出入して歸つて來た時、女が自分等より低い賃金で働いてゐる、自分も働かうと思へば女と競爭する爲めに前よりは低い賃金で働かねばならぬと云ふ事になる、男は國家の爲めに戰爭に行つた爲めに、職業を失ふ事となる之は不公平の極と云ふべきである、故に女も絕對に男と同給にすべしと云ふ事であつた。之は一九一五年六月商務省のウイリヤムスが正式に英國勞働組合代表者に云つた趣旨である、然るに今七月女車掌のストライキがあつた、其理由は英國の勞働者は

▲賃金と賞與 を受る取扱で極めてストライキを行つた時の給料(賃金賞與)は一週間三十一圓五十錢であつた、女は此給料を以て少しとしたのではない此給料は相當であるが、此給料中の十圓は賞與と云ふ名目である、然るに男の賞與が十圓より十二圓五十錢に增加されたに拘らず女の賞與が增加されない之は女を車掌とする初めの規定に反すると云ふ意味で同盟罷工を行つた其結果賃金のみならず賞與にも男女同額を得るに至つた、女は斯の如くするのが男の勞働者の賃金を低下せしめざる所以で、男を保護するのだと論じてゐるのみであつては勞働者は終に奴隷の地位を脫する事が出來ぬ。勞働者をして自由人民とならしめるには

▲相當に餘裕 のある給料を與へねばならぬ、此戰爭の爲めに女も自由獨立の地位に立つ事を得るに至つた、即ち彼等が選擧權を得る所以である。勞働者として賃金を減ぜられる事が最も痛手である、各種の勞働問題及び移民問題は賃金問題と關聯せずに解決せらるゝ事は出來ぬ。ミス・ソフイー・サンガーと云ふ

▲女流評論家 は之に次いで國際聯盟を論じて、國際聯盟は移民問題を徹底的に解決する必要がある、之を解決せざれば世界永久の平和は希望されぬ然るに移民問題を解決する爲めには勞銀問題を基礎とせねばならぬ今日文明各國には勞働者保護の法律がある、此諸法律を國際條約に入れて勞働者最低賃銀法、其他勞働者保護の法律を世界的にする、或る一國の勞働者が安い賃銀で働く爲めに、他國の勞働者を苦しむる如き事なからしめる、斯くして移民問題は解決せられる。

▲日本に於て も勞働者を保護する法律其の他の制度を拵へる事が移民問題解決の必要なる條件となつて來たことを了解する必要があると某經世家は語る(東京)

◎更に新高値

仁川期米奔騰

十一日前場の仁川期米は依然として内地期米高並に正米高に刺戟され强硬を失はず宛然天井知らずの觀あり當限三十二圓五十錢より三十三圓に跳ね中限三十一圓八十錢に寄り附き三十二圓卅五錢に打止め先限は卅一圓十錢に寄附三十一圓六十三錢に奔騰打止め中先共に之を前日前場の止め値に比すれば先限五十五錢の暴騰を示し居れり

◎信用膨脹警戒

京城に於ける商取引の漸次膨脹するに伴ない近來朝鮮人間に於て手形の發行利用激增し來る觀あり乃ち十一月の京城手形交換所調査に見るも枚數六萬二千枚金額二千六百萬圓に達し之れを前月に比し二千七百枚三十三萬圓を增加し更に前年同月に比すれば一萬八千枚金額一千三百四十萬圓乃ち五割强の激增を示し居れりこハ物價の騰貴取引高の增加せし結果當然の歸結と云ふべく一面より見れば京城財界の膨脹を語り鮮人の金融機關利用者及顧客の實顧として喜ぶべき所なれど更にその半面には實力以上の手形を振出せるものなきにあらざる如く斯の如きは不知不識の間に危險の釀生を來すものに付金融業者並に一般の取引者は振出人の實力に注意を怠らざるを要す然らざれば反動の場合意外の邊に餘波の及ぶ事なしと云ふべからずと某有力銀行家は語れり

◎東清急行貨物引受

客年十二月以來停止中なりし東清鐵道行日滿聯絡急行便扱貨物は來る十六日より復舊引受くる事こなりたる旨滿鐵京城管理局に通知ありたるが引受け數量には制限あるを以て之が託送の際はなるべく前日中に申込ありたしと

◎特定運賃適用注意

曩に改正せられたる京管局に於ける穀類特定賃金は一車滿載の場合に限り適用する趣旨なれども穀類の種類若くは乾濕荷造の如何等に依り滿載重量を異にし取扱上煩雜なるに付之が不便を除き各驛の扱振を統一ならしむる爲同局に於ては今月貨車積載重量を改めたるものなり故に貨物の最低積載重量に達する場合は其實量に對する運賃を收受し最低積載重量に達せざる場合は最低積載重量に對する運賃を收受す可し

◎東拓十周年

來る二十八日は東洋拓殖會社十周年に相當するも年末切迫の際こて京城支店にては特に公的の擧式は爲さゞるものの如く社員に對し記念として若干金の分與をなす位に留まるべし尚ほ東京本社にては東拓十年史を編纂中の由にて該刊行物は多分關係方面に頒布する事とならん

◎東拓債好人氣

十日より鮮銀殖銀一銀の三銀行本支店にて賣り出したる東拓第五回社債は發行價格九十八圓利率六分五厘にて六分七八厘の利廻りとなるため一般の氣受けよく第一日より相當額の申込みあり内地にても好況の模樣に付或ひは明日前に締切ることなるべしとも稱せらる

◎驛長會議

滿鐵京城管理局にては來る十五日大邱に於て釜山大田間各驛長會同運輸業務上の打合せをなすべしと

◎職員昇進辭令

滿鐵京城管理局にては十一月一日附を以て二百餘名に對し去る八日職員の昇進の辭令を授與せり

◎川上東拓理事消息

滿洲出向中の川上東洋拓殖會社理事米山庶務課長は奉天を經て十一日朝大連著同地より旅順に往復する旨東拓支店に入電ありしと

人事消息

▲淵田信一氏(平安道技師) 製糖事業調査の爲十一日附滿洲へ出張を命ぜらる

▲熊本縣教育視察團 十一日午後七時二十五分南大門驛著列車にて安東縣より入京不知火へ投宿の筈

▲松本代議士 十日朝大連より奉天通過哈爾賓に向ふ(奉天特電)

▲赤塚奉天總領事 長春出張中のところ十日夜八時廿分歸奉(奉天特電)

▲佐藤平北道技師 十一日朝退京

▲八郡全北道技師 同上

▲指宿黃海道技師 同上

▲岸慶北道技師 同上

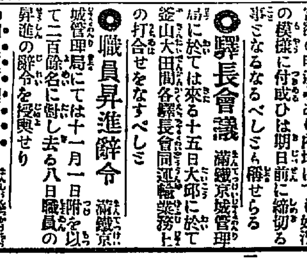
茶前酒後

◆聯合國側が、前獨帝引渡しの要求をなし、又たこれを刑法に依りて處分せんとするは、即ち大戰の責任者に對する「處分方法なる」點に於て、世界永遠の平和の爲なる點に於て、聯合國は一致す。米國大統領ウイルソン君は、大戰の責任者は、獨り前獨帝のみに非ず、獨逸國民にあり、されば獨帝一人を詰責するは、當らざるの甚だしこの意見を有すと。

◆果して此の報にして信なりとすれば、前獨帝に對する聯合國の意見は、正に反對を示すものと云はざるべからざる也。而もロイド、ヂョーヂ君等の意見に依れば、講和會議開會以前に於て、其先決條件として先づ前獨帝の處分を決せざるべからずと云ふ。茲に於て先づ議論の焦點たるは、前獨帝の處分問題也。其結果の如何が、引いて諸他の問題に關係を及ぼすや、之れ亦明かなりとす。

◆ウイルソン君が、「予の渡航は、予が最高の義務なりと信ず」と。紛々たる非議を排して、敢然出馬するは。蒔きたる種は刈らざるべからず、平和の斡旋は繫つて、乃公の双肩に在りとの槪あり、洵に痛快也。而して吾人は、君の所謂崇高の義務の、善なく遂行の出來得る事を希望するも、十四箇條の基礎條件が、如何なる程度まで形態を具へ來るかを、頗る興味ある問題として、世界は待ち焦れつゝあり。

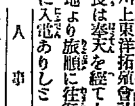
◆ウイルソン君も哲學、宗教、理想を、其儘國際間に實施すべしとも思はれず、議論は議論、實際は實際の差異を認むべし。同君の出馬を敢てしたる、亦議論と實際の調和を斗らんが爲なるべし。



◎女子供でも内職で一ヶ月四五十圓位儲かる籠飼ひ鶉

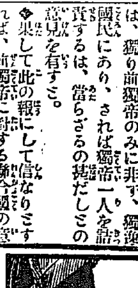
家禽鶉は國産として前途有望 二三羽の鶉で三ケ月間に百圓位儲けた人もたくさん有る

◇實用多産系一ヶ年三百五十個以上産 並鶉……若鶉……三十日雛……四十日雛
◇鳴き鶉……白色系鶉……大卵系鶉
◇種卵……食卵……チヤボ雛々
◇鶉飼料其他附屬品一切
右詳細三錢切手封入御申込次第送呈
何百里の遠地にても鶉及び種卵安著保證す
釜山府富平町一丁目 電話長八六九番 振替三九三二番
旭鶉園



「新」案 製繩機
藁縄打機及細太自由三つ撚り機あり 成績立証二年 貸附 五圓割拂
特典附特約店急募 圖入營業案内は申込次第送呈
大阪大正橋西詰 帝國商社

資本金壹千萬圓
年賦又は定期償還方法に依る勸業資金貸出の外一般商業金融業務を取扱申候
京城南大門通二丁目
株式會社 朝鮮殖産銀行
電話長六〇一四番 營業振替貯金口座四〇九番 道金庫振替貯金口座特二三番
頭取 三島太郎
支店 開城、清州、忠州、公州、全州、裡里、井邑、金堤、南原、光州、木浦、麗水、筏橋、釜山、馬山、統營、晉州、大邱、論山、江景、沙里院、平壤、鎭南浦、安州、義州、新義州、博川、宣川、寧邊、元山、咸興、北靑、海州、鏡城、城津
右の外内地朝鮮滿洲支那各地に爲替取引先有之候



ゼ子ラル靴下カバー
新案特許 NO 29799
大變あたゝかい 靴下がよごれない
各地の洋品店靴下吳服雜貨店に販賣せり ▲一足廿五錢送料共▲
發賣元 大阪市東區内本町一丁目谷町西ニ入 吉金商店

阿部辰之助著
大陸の京城
取次販賣店 巖松堂

總クロース、菊版七百餘頁 定價金貳圓五十錢 送料十八錢
本書は京城に於ける各事業の狀態を詳述し各種企業を勸興せしめ京城をして南北滿洲、蒙古、西伯利亞は勿論露支兩國に向て大陸的發展をなさしむべく官民有力者の企業に對する努力を促し尚ほ京城に來らむと欲する人士の爲め最近調査の實況を示したるものなり
内容第一章は京城の沿革及氣候 第二章府税の課率及營業▲兵籍等の居住者の常に必要なる民籍、土地、家屋、營業、兵籍等の願届書式及府民に必要なる事項▲第三章學校組合及各學校の狀態及入學の手續▲第四章神社と宗教の區別及各宗教の狀態▲第五章京城商業會議所▲第六章京城に於ける輸移出入貨物及關稅▲第七章道路、交通、及漢江沿岸各地の水運、鐵道貨物の運賃並貨物集散の狀態、通信機關(郵便、電信、電話各事項)▲第八章衛生一般として隔離機關及衛生に關する狀態と願届書式▲第九章各銀行狀態▲第十章各會社の營業狀態▲第十一章各商業の狀態及重立たる商店▲第十二章各種工業の狀態▲第十三章土木建築▲第十四章鑛業▲第十五章鐵道運輸通關手續▲第十六章仲介を目的とする營業の狀態▲第十七章交通金融其他▲第十八章新聞雜誌各興信所▲第十九章辯護士公證人代書業の現況を示し至極平易に案述したるものにして各階級を通じて必須の好參考書たり

發賣元 京城太平通電話構内 京城日報代理部 十三番 振替京城三〇〇番

◎貧乏の因

病氣に原因するのが大多數だ ◇醫學上から研究すると

◇都會に住む細民は次第に人間の美性を失ふ

貧乏の原因を醫學的に研究すべく其方面に就て長らくの間其生活状態を調査中であつた醫學士暉峻義等氏は國家醫學會席上に於て其一斑を發表した氏は曰く『我々が貧乏を

◇醫學上の立場から仔細に研究して見ると此處には人間生活の美しい方面を全く失つた人間の群を發見する彼等は長屋の暗い小さい部屋にゴロ／＼して職業上の不安とか職業を見出せぬ悲哀とか或は職に失敗して生活の方途を失つたといふが如き理由の下に相率ゐて次第に同一場所に集合した

◇人間が醱酵するやうな社會を營むに至るので都會に細民の多い譯も此處に在るそして此社會に入つた者は次第に人間の美

數字を得たそこで今度は本所横川町の五十九戸家族に就き職業を休む者の率を求めて見ると一日百人中十四人強となり鐵道從業員の二人強鑛山巡査の三人強に比して非常な多數に上つてゐる

◇營養問題に移ると食物の種類の如き中流以上の食物と差ないが中流以上のは副食物が多くして主食物が少いのに反し細民となる程主食物が大部分を占め副食物が僅少になつて行くのを發見する尚私は横川町五十九戸中五戸に就て調査したが彼等の日收平均は六十七錢六厘で其中食費は三十六錢七厘を占め大人一日の熱量は二千六百八十カロリー蛋白質は七十六カロリーで營養上悲觀するには及ばない事を知つた

性を失ひ感情が鈍くなり道徳觀念が缺けて來て一種の動物性を加味した人間になる此點に於て彼等は社會の一種の病氣とも言へるのである私は本所、深川方面に亘り研究して見たが先づ

◇百分比例にして家計主又は家族の病氣四十四事業の失敗三十七轉業二十一祖父の代より御氏十九酒色の爲十八天災十二家計主の死亡四家族多き爲二といふ

◎御名代宮 米國御著

國賓として迎接

東伏見宮殿下の御動靜に關し式部職より左の如く發表せらる（東京）

依仁親王殿下十一月二十七日アリマス御出帆大西洋上連日天候不良の爲め豫定より一日延著し本月七日御無事紐育御著國務大臣代理及び接伴員の奉迎を受けさせられ國賓として迎接の上夕刻華盛頓ホテルに御宿泊遊ばさる殿下には至極御機嫌麗しく遊ばさる

瑞珠院日浄尼＝九條温子姫の變る姿（得度式の八日夕京都村雲瑞龍寺の本堂御廊下にて）

◎長慶天皇御陵か

鳥取縣下の古墳

鳥取縣岩美郡面影村大字網谷の古墳は長慶天皇御陵なりとの傳説ありて今春來宮内省より増田考證課長其他警察の爲め來縣し各所の傳説中最も有力なるものと認められたるが宮内省御用掛牧野顯一氏も實地調査の爲來縣調査すべし（鳥取發電）

◎日浄尼 東京へ

◇御挨拶の爲

八日落飾得度式を擧げたる村雲尼公瑞珠院日浄尼は十一日午後八時二十分京都驛發列車にて尼公に伴なはれ東上各宮家御訪問の上得度の御挨拶をなし十三日參内皇后陛下に拜謁御下賜品に對する御禮奏上の筈なり

◎前橋市大火

十一日午前二時前橋市に大火あり全燒五六十戸を出せり（東京特電）

◎東北地方の吹雪

青森函館間の連絡船出でず

東北地方は七日夜來降雪甚だしく鐵道院青森函館間連絡船比羅夫丸は吹雪の爲め運航を中止せり、秋田地方は午後六時迄に積雪五寸、横手附近は一尺、新庄地方は一尺四五寸、院内は七寸吹雪にて緊張あり盛岡地方は列車運轉不能に陷り一時間餘の遲延を來し、北越方も新潟縣關山地方に吹雪甚だしと（青森）

◎仁川丸坐礁

佛國西海岸に拋棄す

朝鮮郵船會社對米提供船仁川丸は佛國西海岸の一島イールデューに於て坐礁せるが救助の見込無く拋棄せり乘組員全部無事なり（東京特電）

▲附記　郵船仁川丸は千八百九十五年（明治二十三年）英國にて建造され總噸數三千七百二十七噸の鋼鐵船なり

◎暇さへあれば火を焚く

事と薪を集めること……

京城で最初の凱旋兵 植木由榮君談

十二師團輜重兵十二大隊に從つて西伯利に出征して居た京城旭町植木由榮君は當地で始めての凱旋兵で八日夜歸著した其土産談に曰く『私達の大隊が十月十三日スパスカヤに著いた時は既に零下卅度で何等防寒用意は無かつた戰友は忽ち十數名の

◇凍死者と過半數の凍傷者を出した加ふるに馬がバタ／＼斃れて約八十頭にも及んだそれから毎日／＼イクダに進み其處からゼヤ間を往復して糧食運搬をやつて居たが斃るもの總てが凍り付いて馬が非常に難儀した事も多かつた此任務も十月廿七日終つて再びスパスカヤに引揚げ其處の露西亞兵營に暫時滯在して居る内に凱旋する事になつたスパスカヤには八百名の

◇過激派が散在して糧食に困つて吾兵站部を襲はんとして居るので非常に警戒されて居る此處には只一度入浴した許りで何れも眞黑の顔をして居た殊に嬉しかつた事は伊藤痴遊の軍事講談、後藤男爵、平男小島大將の成功談を聽いた事と慰問使望月圭助氏から酒と煙草を貰つた事で酒は此時始めて飲んだ位である尙ほ愛國婦人會よりの

◇御慰問を受けては有難さに一同感泣し若松石炭組合からは慰問袋を貰つてニコ／＼した戰地の吾出征兵は頗る元氣旺盛で暇さへあれば薪を集める事と火を焚く事之が休憩中の日課の様になつて居る』

◎和蘭領事の寄金

京城駐在和蘭代理領事は鴻殻鈴木龍山元町小學校長の殉職に同情し今川金十圓弔慰金として遺族に寄贈方總督府學務局に申出でたり

◎出征軍人送迎五十四日

慰問袋寄贈五萬＝時局に關する會務報告を兼ねて愛國婦人會慰勞會

愛國婦人會朝鮮本部にては十一日正午から京城ホテルに於て會員慰勞會を催した國分、松永、持地、兒玉、永、佐々木、釘本、中村、人見、關、金谷の各夫人を始め七十餘名の會員が出席があつた閉會前餘興として竹本奈良梅緑千賀氏の淨瑠璃があつて大橋主幹の挨拶に次いで大略左の如き會務報告があつた

▲事局に關する會務報告　本部は出征及び凱旋部隊送迎をなす事百五十九回此日數五十四日間送迎者總人員二千六百八十三人で紙巻莨二萬四千枚貰卅二萬八千本を寄贈した其經費總額六百二十五圓十七錢を要した

▲軍事講話開催　本部は時局に鑑み九月二十一日出征部隊歡迎時間の間合を計り龍山驛樓上に於て七十八隊の鈴木步兵少佐の軍事講話を聽いた

▲市川朝鮮軍參謀長より同會が出征軍歡送迎のに意を盡したる禮状傳達

▲慰問袋取纏　出征軍隊に對し慰問袋を贈呈する爲め役員會員東奔西走熱心活動の結果慰問袋一萬六千六百個を得て内二千個を海軍宛寄贈他は總て陸軍宛寄贈した尙其内にて現金の寄贈を受け本部に於て慰問袋を作成したもの千七百六袋金額八百五十三圓廿九錢であつた此外支部六箇所より受けたる

▲慰問袋二萬五千三百個此費用八百九十圓九十四錢を要した尙ほ慰問袋の縫ひ裁は全部京城高女校及び技藝校に依頼して一部の縫ひ裁を終へた大井十二師團長其他よりの禮状傳達出征軍人家族の慰問等をなして面目を施した外三件に付報告があつて午後三時閉會後茶菓あり各自快談を盡して散會した

◇愛國婦人會慰勞會と餘興

◎妙心寺開山忌 長沙洞

妙心寺にては十二日午前十時より開山無相大師毎歳の忌辰を修し續き後藤師の法話並に谷貝梅松庵の獻茶式等あり一般の參拜を歡迎すと

く腕を飛ばした（東京）石井柏亭、伊東忠太、林博太郎伯、岡田三郎助、大河內正敏子、岡崎雪聲、和田英作、川合玉堂、鏑木清方、香取秀眞、横山大觀、高村光雲、塚本靖、津田青楓、十田芳穂、塚田秀鏡、長原孝太郎、中沢田岡讃子、安田靫彦、久米桂一郎、黑田永池秀太、海野美盛、山本鼎、山下新太郎、正木直彦、宗得三郎、松林桂月、藤島武二、小杉未醒、小室翠雲、寺崎廣業、湯村卓有島生馬、朝倉文夫、荒木寬畝、深谷國四郎、太郎、北村四海、結城素明、滿谷國四郎、南薫造、新海竹太郎、下山觀山、平福百穗、各新聞美術記者

◎銅像と弔慰 殉職した鈴木校長

報の如くなるが十日更に委員會を開き凝議の結果銅像建設の事は既報の如くなるが此外弔慰及び奨學資金も併せて募集する事となり即日より實行せるが元來龍山は萬事に一致團結心強く從つて既に多額の寄附金集まり居れり銅像建設委員には同地在住職者にして官職にある總てを網羅せりと

◎美術家大會

美術館建設問題にて

美術館建設を期する爲に組織されたる同盟會の運動は之を希望する美術界一般の擧つて贊同せるのみならず夙に其必要を認めつゝある

▼朝野名流の加勢もあつて此目的を達する前途の大會は十日午後二時から上野公園讀賣新聞社に於て開催するまでに運んだ勢ひ斯の如くなればこの美術家大會は單に美術家及び美術關係者ばかりでなく名士も富豪も政治家も列席して社會に對する氣勢を揚ぐるに至るべく順序としては開會劈頭に正木直彦氏が趣旨を說述し

▼此擧を翼贊する數氏の演說あつて後當問題に關する決議をなし進んで實行方法をも決める筈である發起人は左記の如く斯界各方面の諸家を擧つて汎

◎朝鮮人蔘は藥品か否か？……

◇税務署と問屋との爭◇

萬病に効くと云ふ處から朝鮮人蔘とか高麗人蔘が大全盛を極め全國到る處の藥種店で賣られて居る然るに是が事實上藥品扱ひされて居るにちか・はらず内務省は藥品として見ず從つて人蔘には賣藥税を脫してゐる、然るに永代橋税務署は昨年管内人蔘商に

▼印紙貼付を命じ今年夏に至り市内各税務署でも捨て置けず各自印紙貼付の命令を發し四谷税務署でも四谷信濃町十一朝鮮物產商店鈴木諸心に印紙貼付を命じたけれど鈴木は命に服せず目下係爭中なるが四谷税務署長は食品と見ると立派に包裝され種々効能書なども添へてあつて立派に

▼藥品と見做されると云ひ一方鈴木店主は人蔘エキスは藥品でなく蜂蜜を製造せる際出來た廢物で之れを製出したものだから藥品ではなくそれに現在日本藥局方にもないし私共では内務省へ賣藥として屆け出でもしてない物に賣藥としての印紙を貼る事は出來ないとカンで居ると

◎官報に汽車時間表

廣告も載せる

印刷局では官報の大改良を計畫であつたが愈々明春から實施されると同時に在來の面目を一新し版紙を擬らして各方面に大擴張を行はる筈である右に就いて池田印刷局長は語る『先づ大體改良の

▽要點は從來二段組の印刷を三段に同時に採て研究中であつた新鑄造の印刷上獨特の活字を採用し印刷上の體裁を改める、其の結果頁數が節約されるが其餘白には學術智識其他各方面の新研究資料となるべき記事を掲載する目論見で之には各省の力を藉りる事になつて居る又官報として全く新しい試みは汽車の時間表を

▽挿入する事で、赤い色紙を用ひ官報同形で八頁を折込にし全國樞要區間の汽車時間、連絡船の時間等を表示し、これは毎土曜日發行の官報に挿み込む事とする又新に廣告欄を設け學藝、發明、特許品其他の公益に關する眞面目な廣告文掲載の依頼に應ずる、廣告料は約三十字詰で一行五十錢位にする心算である

▽一方官報の普及めについては豫て新聞や雜誌の廣告を行つて約四千部を増し現在四萬五千部を印刷してゐるが、昔日は四萬四千部程度であつた、二千部に勸誘を行つて四百部ばかり購讀の申込があつた、尙ほ東京市中の浴場、理髪店を調査し、近く官報掲附の勸誘状を出す積りで、明年改良して汽車の時間表が挿まる譯になれば更に購讀者が

◎女學生燒死

暖爐に注意せよ

九日午前十時卅分頃市内昌信洞私立淑明女學校一年生河漢用（十二）が放課後他の一名と共に教室に入り暖爐の側にて復習中河漢用は餘り暖爐に接近し居たる爲め衣服に火が遷りたるに驚き教室を飛び出し救ひを求めつゝ馳廻る內火は全身に廣がりて同日午後四時頃遂に死亡したるより同校にては十日午後二時各生徒參列の上葬儀に附したるが淑明女學校西大門女子普通學校生徒等多數參列せり

◎仁川の火災

十一日午前二時仁川松坂町二丁目十番地今田定次郎住宅より出火あり火災報と同時に各消防組出動の上常備消防隊一齊に出動就中新に購入せる水管自動車の如き瞬時に現場に疾驅して極力防火に勉めたる結果家屋頗る密接せる場所なるに全燒一戸にて鎭火

◎糯米は驚く程高い

糯し押し詰まれば下らうなくてならぬ餅、その餅の時季が近づいて來た、今年の糯米は何うであらうと南大門通りの今村について聞くにまだ少し時季が早い故か

▽當用口の外には陸の米は何うで……

▽殖える豫測である定價も一箇月六十錢だが改良後と雖も値上げせず寧ろ紙數の經濟で幾分下げ度いと思つてゐる』

▽六七割の高値で唯々驚くの外はない、其の當品物がないのではない品物は沿線に腐る程あるのだ、一體糯米は普通の米より高いものであるがその開きは何時も五錢位が普通で假令幾ら開きがあるにもせよ九錢から十錢の開きを見たのは今年が始めてである、今に輸送機關が順調に復し品物がドシ／＼到着するやうになれば愈々本當の相場が立つと思はれるが

▽從來の例によると何時も押詰つてからドット下るやうである、去年の暮も廿五六日過ぎから一氣に三四圓方下落した是は早く手放さぬと翌年迄持越さねばならぬと云ふ處があるからで今年も多分この例に漏れぬ方だらうと思はれる

◇警察の窓から

▲煙突の掃除　暖爐其他煙突を有する時は火災を起す虞あるのみならず煤煙飛散して他人に及ぼすこともあり故に之等の掃除を怠らぬこと

▲塵箱漁り　下層細民人が籠を肩に塵芥箱を漁り温突燃料や紙屑其他を拾つて行くが彼等の籠は掃除の役にも立てる爲めであるか決して油斷はならぬ

に不拘借に若家屋一戸を燒失して三時三十分鎭火するを得たり原因は温突の新設に際し乾燥の爲め極度に焚火を爲したる結果壁に移る二重板の袋壁、羽目板より燃上りたるもの、如し損害は家屋什器衣類等を合せて三千圓に達せるが家屋は八千圓の保險契約ありと

◎久保局長再度輕快　久保滿鐵京城管理局長は目下重態の爲め、京都邸に滯在中なるがこの頃再燃の輕快に向ひたる由なり

◎中川數治令孃　京城中學校教諭中川數治氏令孃千秋子（二一）は豫て病氣の處十日午後六時逝去永眠せり

灯とし頃

そんな其麽ものでない、▲第一石炭が騰りエや炭の漸爭から器械機具の騰貴……（以下小字不鮮明）

お買物の半額でお買物の出來た方は誰？

おゝ嬉しや の半額當籤日は十二月九日‼

依て右日附印ある現金受領證引換へに向ふ一週間以内に於て半額お戾し致すべく候

◎◎あこ◎◎

十一日より廿日まで一日の
廿一日より卅日まで一日の

半額日があります

京城本町（電話八九〇番）

◆人學事視察團より（六）

（小字不鮮明）

子宮病血の道と神孤湯

彼是迷無

婦に能く効く良薬神孤湯を試みよ現に百万千萬を證すも効なき難症のヒステリーや、數年不治の子宮病を始め固疾の血の道や多年不治のリウマチス神經痛の方々が神孤湯の連服し漸次快方に赴き遂にはスツカリ快癒し嬉しの除懸篤な御禮状（現在存一般の閲覽に供す）を送らる、實例も少からず若不幸にも是等の病に惱む人あらば

本劑は せんきリウマチス神經痛と子宮血の道ヒステリー及 慢性胃腸に能く効を奏す

神孤湯 本舗 名古屋市長者町 荒川長太郎

リウマチスに悩む人は

◎こんな徴候 胸、腹、手、足、肩、脊、腰、膝、等が引つり、腫れ、しびれ又は筋が張り痛み、彼處此處と移動し、何となく腹が張り差込み腹なり胸つかへ溜飲食進まず又は便秘又は下痢ぎ寒氣惡感逆上、血眼齒痛頭痛耳鳴り腹に力なく肩凝り冷わ夜眠られず根氣薄らぎ記憶あし物事に感じ易く顔手足の浮腫等子宮病血の道と氣鬱りウマチス神經痛及び腸よりの徴候に悩む人は早く神孤湯を試みよ

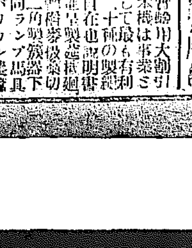
難症と雖症の論なく即刻試みよ神孤湯は家庭の良薬にして今や全國各藥店にあり

價 半週五錢十日分 十錢一週二十錢 五十錢 一圓 試用 十二錢

本舗藥房 名古屋市東區京町一丁目 荒川長太郎 電話長 振替大阪

寫眞 寫眞出張撮影 富士日寫眞製版部 銅版、亞鉛版

大正式製繩機



賞勝用大割引 本機は事業として最も有利な二十種の製繩機 自在也說明書 二府縣奨勵器具 向ランプ馬具 バリカン農具 具定價表進呈 東京本所長崎町三ノ 本機製造販賣所

秋の風引には

大學病院 模範方劑 解熱 完全劑 カゼピリン KAZEPIRIN 東京 本舗 淺野藥天堂藥局

製劑有害無効 保證

滿州各地の特約店にて販賣す

釜山著名商店案内

酒精、西貢米、碎米、燒酎、砂糖、麥粉 釜山

長岡商店

清酒・罐詰 あづまや商店 糖粉・官煙 釜山

島田糸店 糸專門類物 電話五七八 釜山

…六千九百九十一噸運賃二千四百八十五噸發送總計八千四百七十六噸にして之を前年同期に比すれば…而して發送の主なるものは大豆…轉送の爲の貨車缺乏にして豫想の發送不可能なりしに因るものなり

◎鮮人を殺す

京畿道江華郡下道面上坊里劉京五(二二)は…發狂者にして常に兇器を携へ附近の人心を恐怖せしめしが…引致されたり

◇冬の雲 冬空の動かぬ雲や凩寒し

鐵道案内
手荷物と小荷物

本項は前號に掲げたる某當局談「下手に旅行する法」の續稿であるがコウ云ふ先から先迄は鐵道へ乘る旅客の心得とも云ふべき事項になるから「鐵道案内」と題して書いた譯である

一寸氣付かぬ便法

遠方から人を招待するとか又は其他に此方の用で來て貰ふときに乘車賃を自分の方で拂はなければならぬことが有ります其際は所在の驛へ申出でると片道なり往復の乘車券引換證を賣つて呉れるから誠に便利です若し又不用に成つた場合には請求より拂戻しを請求することも出來ます此の引換有効期間は發行の日共三十日間です

手荷物の心得

◆手荷物の目標 手荷物には目に着き易い樣に姓名又は記號を書き記して置くのが總てに便利であります西洋人などは赤の二重の斜線又は⊕等一見見分け易き記號を付けて居るから紛失の搜索にしても受取る時でも第一番に分ります

◆信玄袋荷造法 横向きや逆樣になりても中のものが一切出ない樣に袋の口を堅く締め鎖錠又は封印をして置くのが安全であります併し預ける荷物に信玄袋は全く不適當です内容品の不足等の苦情は何時も信玄袋です

◆細物には細 荷物に細掛けもなく又細の結ぎ目は結節の方きに細が切れたり下が外れたりして荷物が損じます又行先地他線行のは中處がなきゆゑ必ず丈夫な繩を掛けて置くのが安全です

◆禁物 一個の荷物に他の物品を結び付ぬ事、行李や鞄、信玄袋などに洋傘、雨傘、風呂敷包み類を結び付るのは禁物です分離したときは誰の荷物とも分らずとう〳〵遺失物の扱を受けます

◆荷札 荷物の附札は丈夫であれば木札もよろしいが板が薄いと紐穴から直ぐ割れます大形の平札又は厚紙が都合に丈夫で安全であります

◆制限 手荷物は一人に付一等百斤二等六十斤三等三十斤迄無賃で其以上になれば運賃が掛ります

◆目方と形 荷物の目方が非常に重かつたり又形の餘り大きな物は御斷りする場合があります故に頃加減に荷造りせられるのが便利であります

◆途中取卸 五十哩以上の御客は途中用事のある驛で下車して荷物を受け取り又其驛から預ける事が出來ます此場合は初め乘車の驛にて御申込になれば其扱ひをします

◆自轉車 旅行用の自轉車は一人一輛に限り朝鮮線内は遠近に拘らず二十錢内地は五十哩迄二十五錢其以上は普通運賃滿洲線内は他に手荷物がなければ無賃で扱ひます

◆數の多い荷 内地や滿洲行にて一と口に數多い荷物は一個宛中の品物を記した目錄を作つて置いて税關檢査のとき差出すのが便利であります目錄がないと荷物が遅れる場合があります

◆鎖錠のある荷 内地や滿洲行の荷物に鎖錠をしたものは荷物と同列車で本人が行かぬと税關檢査が出來ぬ爲め荷物が税關に止まり手違ひとなる場合があります

◆税關檢査 税關檢査のときは荷物が澤山の爲め荷物が振り替はつたり或は品物が他の荷物に紛れ込むことがないとも限らぬ故なるたけ檢査に立會ふのが安全であります

◆手荷物の配達 内地行きの手荷物は着驛より一里半の所迄は普通便は五錢至急便は十二錢にて配達の扱をします故驛で右の料金を支拂ひ御申込みになれば其扱をします南大門驛に到着する荷物は普通便は五錢至急便は十錢の料金にて京城市内は配達をします

(二)客車内に持込む手廻り品 客車内に持込む手廻り品は網棚の上に又は腰掛の下に入れられる位のもの、外は持込む事は出來ません一二等の腰掛の下は高さ約七寸です

(三)携帶品の稅 内地へ持出す携帶品の砂糖は十斤、煙草は五十本、紙卷煙草は百本、栗は一斗、人蔘は二三十匁位迄は差支なきも其以上携帶すると稅金が掛ります

◆附隨小荷物 手荷物外の品物で客車内に持込み出來ぬものは附隨小荷物として御客樣と同じ列車で送る事が出來ます

◆一時預 携帶の必要のない荷物は重なる驛で一時預かりをします其料金は左の通りであります(但し嵩の高い物、損じ易い物、腐敗し易い物、目方の餘り重いものは扱ひませぬ)

一個三十斤迄二十四時間迄毎に(金三錢)一個三十斤以上(金六錢)自轉車小車一輛(金十錢)

小荷物の心得

◆無料 小荷物は着驛より一里半迄の所には無料で配達(滿洲線を除く)します但し鮮魚、動物、生魚、高尚品及び金、銀、貨幣、有價證券類の如き貴重品は配達しませぬ

(一)鮮魚や腐敗し易いもの以外の小荷物は荷受人より品物を代金引換渡しの扱ひが出來ます(滿洲線を除く)

(二)荷物には荷送人、荷受人の住所姓名、番數、記入したる綜符又は木札を附け代金引換の荷物には引換代金を必ず御書入下さい

(一)積木は損じ易い物、嵩の高い荷物は品物の性質により倍額の運賃(取扱注意)の扱にて普通より倍額の運賃が掛ります但取扱注意の扱なりとて荷造が完全でないと鐵道は破損の責は負ひませぬ

(二)金、銀地金、同細工物、金銀貨幣、有價證券、紙幣、額布類其他高價のものは貴重品として扱ひ運賃の外に保價金が掛ります其保價金の御支拂ひなき荷物は萬一事故が起つても鐵道は損害の賠償は負ひませぬ

(一)内地や滿洲行きの荷物は鐵道が無料にて通關の手續をして稅金が掛れば其稅金は立替て支拂ひ着驛で荷物と引替に荷受け人より申受けます故荷物を御託送の時は通關代辦依頼狀と云ふものが要ります其用紙は驛に印刷してあります故御入用のときは差上げます

(二)右の代辦依頼狀には仕出地、行先地、荷造り、個數、荷受け人及び荷送り人住所姓名(捺印)在中品と其價格を一々悉數記入するのであります

◆犬 は犬籠に入れて運送します尤も朝鮮線内は他の御客の苦情がなければ客車内に持込みの扱ひをします但し急行列車は御客が多いため又他の列車にても御客の多い時は御斷りします此場合は荷物として又御自分に犬籠を造つて專用として驛へ預けて頂くことも出來ます

大連保險問題
解決して保險復舊
兎にも角にも

◆保險側の提案に屈從 大連埠頭に於ける怪火頻發の結果内外火災保險側は非常なる危險を感じ埠頭野積貨物に對する保險契約を解除し滿洲特產物取引上重大なる支障を生ぜしめたる野積貨物無保險問題は爾來種々なる條件を見出し得ず荏苒經過し來れるが既報の如く六日午後に至り滿鐵會社及び荷主側は保險會社の要求條件全部を承認して問題の解決と共に

保險の復舊を見

たるが是れより先き各保險會社代理店なる三井物產大連支店山室保險主任は十月末上京し各保險會社の間に斡旋の結果十一月二十三日保險金より埠頭構内に特產物を收容すべき危險分離區畫を約五百坪以下とし其の積堆貨物の價格を二十萬圓以下とし其の四方は八間の空地を以て他の積堆區劃と危險の隔離をする事を實施せられ度き旨を申込み來れるに由り

滿鐵會社にては

十一月二十七日を以て代理店三井物產支店を經てセパラブル、リスクが絕對要件に非ざれば埠頭構內貨物積付の關係上其の四方を八間とし一區劃の危險分離を五百五十坪とし保險金額を二十八萬圓とし若し保險側が一區劃の面積を五百坪とする事を固執するならば保險金額を二十五萬圓に增加せられ度しと電報にて交涉したる結果保險側は十一月三十日に至り

左の案を提示せり

(一)ブロック五百五十坪としてリミットは二十八萬圓とす但し周圍は八間の道路中央に三間の通路を施行せしむる事
(二)レーイトは一ケ月千圓に付七十五錢の割合
(三)如何なる場合にも損害の九割以上を塡補する事無し
(四)損害額の計算は罹災當時の時價に依る事
(五)本特約當事者の一方十日間の豫告を以て解約し得る事但し當時に現在引受中の契約をも解約と同樣とす
(六)マリーイン、クローズが挿入の事
(七)巡視組所の設置は銀行の火災保險に準じ消防設備は之れが存命履行する事

同問題の解決を

右の案に就き滿鐵會社は一應荷主側に諮り其の承諾を得て茲に初めて保險の缺陷なき狀態となり荷主金融業者は勿論一般滿洲經濟界の不安を抱かしめたる本年六月二十七日以來の保險缺陷問題の解決を見るに至れるが埠頭に八間の道路中央に三間の通路を橫行せしむる結果一區劃五百五十坪として十八萬車(一車は三十噸)より積荷せざるを以て貨物集積地十四萬二千噸に對し二割七分五厘即ち三萬九千百卅二噸の收容力を減殺する事となり左なきだに堆積甚しく保管料の値上を惹し問題を惹起し居る際更に新に集積能力を減少するは

大連特產界の苦痛

勘少にあらざるも無保險にては金融の路杜絕し取引を如何とも爲す能はざるを以て背に腹は替へられず遂に保險側の條件に屈服したる次第なり(大連)

◎慶北共進會と
西鮮の共進會

平壤商業會議所調査主任談

共進會の眼……大邱に落ちた金……都市の色彩と電車

進んで滿洲と………的關係

慶北共進會に於て開催せられたる共進會に落ちたる金は三十萬圓内外なるべしと觀測するものあり直接間接に大邱を潤ほしたることは言を俟たざるが共進會を功を見逃すことは出來ぬ…

經濟勢圈の擴大

交通等の點に於て平壤と酷似せる大邱は曾て官民の不一致を以て有名なりしに該共進會を楔子として官民の融和を實現し府勢の發展に資する所少なからざるは可く殊に鐵道網の擴充に依る地方產業の發達に伴ひ物の集散を盛んにならしめ將來之が加工業の隆盛を馴致し以て南鮮の名都として一府の盛…

豫想しての感想

を叙すれば大邱は市街の繁華中心地に近くして停車場を有し市街交通の利便大なるのみならず街衢比較的整頓し地人家屋は一見平壤よりも多きが如くに見受けられ市街の體裁に於て平壤に優れり此點を以て見るも共進會の開催迄に平壤の玄口たる停車場通りの家屋完成を圖らざれば外來者の第一印象を傷くるのみならず如何に堂々たるセッション式を說くるも…

市街との調和を

圖ふ可く又市區改正完成後は是非電車計畫を成功せしめ平壤の都市的色彩を濃厚ならしめたし最近迄…平壤製鐵所の經營を見るに至れるが從來滿洲方面とは…平壤の工業生產品の販路たるべき市場方面との關係を密にし同時に共進會の精神的成功を見逃さざることを希望す

◎米豆檢査と
取引信用の增大

大正七年十一月中に於ける京城管内米豆檢查數量は玄米三萬九千八百八十叺、中白米九百二叺、大豆總數四萬五百四十叺に達せり之を大正六年十一月に於ける檢查數と對照するに玄米に於ては一萬二千百五十二叺、中白米二百四十六叺の激增を見大豆に於ては二萬六千八十五叺を減ぜり米の增加…

◎特產物と牛
◇大連に於ける貿易狀況◇

◇特產 十一月中に於ける滿鐵沿線より大連の特產物出廻り狀況は大豆八千九百五噸豆粕九百七十六噸にして之れを昨年の同期に比すれば大豆一千九百八十二噸を減少し豆粕に於ては六百五十三噸を增加せる本年四月以降の累計より見れば二千餘噸の減少を示せるが其原因は主として輸送の關係なりと

◇牛 十一月中に於ける大連への牛の輸入數は四百四十九頭にして内牛肉用六十一頭屠牛八十八頭にして此等の牛は仕出港に殆んど全部青島より輸出せられ居るが鎭江よりも少々輸入せられたり(大連)

◎大連と流氷

◇西北港に防材を施す◇

大連港は毎年結氷期に至れば滿洲の流氷北風の爲めに西北防波堤口より港内に流入するを以て滿鐵埠頭事務所にては毎年西北港口に防材を施して流氷を防ぐを例とし本年も十二月二日より明年三月末日迄開鎖の筈(大連)

◎馬山でも燐寸

馬山の南端島にはポプラ樹多數繁茂せるを以て之れを材料として燐寸製造を計畫するものあり此工場としては馬山は海陸共に便利なることとて昨今機械の据付け等準備中なるが職工は日本人約百名内外を使用する筈なりと(馬山)

◎奉天銀行開業期

奉天上田久吾石田武亥氏等其の他多數有志により計畫せられつゝある奉天銀行は目下小西關元倉庫會社内に創立事務所を設立し着々事業を進めつゝあるが多分來る十五日頃より開業の運びとなるべく豫定なりと(奉天)

開原近事
◈銀行…公會堂…市場◈

銀行問題(二派)

開原の發展顯著なるは今更贅言を要せざる處なるが從來同地には其地としての銀行を有せず爲めに貿易商等の大口金融に對しては正金、正隆、朝鮮の三銀行により調節なく需用を充たしつゝありしも小口取引に對しては多少の不便を感ぜざるを得ざりし爲以て兩三年以前より小資本の銀行設立の計畫有志者間に企てられ居りしが近來共議者間に漸く進みたるも開原全部の意見統一を見ず目下の處設計畫一派に分かれ各其意見を固執して下らざる狀態なるが某有力者の談によれば元來開原は特產物市場として立ち得べくも金融市場として此の際小を捨て大に就はれざれば此の目的を以て三十萬圓以下の小銀行一を建設すれば十分なるべく現在の如く二行設立の議などは到底成立せざる處なるのみならず斯ては開原將來の發展を阻害するなきを保せず故に此の際發起人は設立を撤回し一般に最も策の得たるものなるべし云々との事なれば或は兩者の妥協により一銀行として計畫を進むるに至るなるべきか

公會堂(愈々設置)

開原新市場開設の曉には現在市設の建物は取拂ひ其の跡に公會堂建設の議起り某地は公會堂地として取除かれ居たるが一時的契約の下に市中を開設せしものなるが今回新設市場の開場を目はかに迫り市勢も年と共に著しく發展し來りたるを以て愈々公會堂建設の事は明春早々着手を見るべき筈なりと

市場(愈々開業す)

開原村田氏奉天鶴岡氏等によりて組織されたる開原市場は愈々來る十五日より開業の運びとなり居れるが該市場の內容は極めて整頓し且つ完備せるものにて愈々開業の曉には滿洲有數の大市場たるべしと(開原)

◎關東都督府
臨時戸口調査

關東都督府にては七日府令第四十號を以て臨時戸口調査規則を發表し小長官、民政部長、陸軍部長、長官房、警務、總長鈴木外事總長に內定し近く細則の發表と共に部內各局の調査を開始すべく左の通り新聞紙上に記載表の筈なり(大連)

◎大連貿易額

大連港輸出入貨物は近來著しく增加し本年上半期に於ける輸出約百二十萬噸にして下半期は更に激增し本年度輸出入は優に三百二十萬噸に達すべく昨年度の輸出入に比し五十萬噸上の增加を見るに至るべく金額に於て昨年の一億四千七百萬圓に比し本年は二億圓に達するの見込みなり(大連)

◎隱元豆の山

港も船も隱元豆で一杯

滿洲出廻りの奥地白(內隱元豆)は今や最盛期に入り陸路鐵道より滿鐵線の港よりするもの多く滿鐵埠頭に積るもの一日三千俵乃至四千俵の出廻りを見るに之れが排出は甚だ微々たるもの…

上海の紛の布を張る

上海以北では旣に申合せて去る五月總會の結果增資することに決した…株主總會の結果增資することに決した…

朝鮮方面からさへ

引く事があるとの事である、所が同會社は大正六年八月火災に罹つて休業したが新工場を設立し機械は勿論瀋陽方面輸入の見込で…何しろ滿洲の獨占事業である

鐵嶺
◈

(二)滿洲製粉の活躍

滿洲製粉株式會社と鐵嶺支店…それは滿洲製粉會社は明治三十九年十二月資本金一百萬圓を以て創立された大會社で本社を東京に置き其工場を鐵嶺と長春とに設けてあるが近く……

◎栗の高き譯

國境地方にては昨今白豆(隱元豆)の輸送力の缺乏にて其の方面に於ける價格も會寧の如きは全石三十圓の巨額に上り…栗の出廻り皆無にて品薄なる爲め田作地方に於ては…六圓と云ふ空前の相場を稱し居る…

…るより今や清津港は埠頭よりの停車場間に掛けて倉庫と云はず一帶に堆積したる白豆の包装を以て覆はれつゝある盛況なるが本月五日現在に於ては市中の滯貨六萬俵に達せるが之れが排出は阪神行きの定期船のみにては不可能なるは勿論時節柄二三便新航ある位にては所詮排出困難なるに到れり(清津)

演藝案內

◈壽館 △各種大好評の英國軒ハレー一行…
△有樂館 …早川貞遠部…
△大活劇 急行列車の救助
△新喜劇 片われ月
△聯盟劇 忠ぱね緣
△黃金館 …
△第七大秘密 …
△つゆ草 …
△浪花館 京城明治町 電話二一六 △浪花節競技大會…
△文樂座 本町五丁目 電話三三八 十二月十二日より…
△大正館 電話八七三 …

防寒實用 毛布 (買ひ遅れて後悔する勿れ)

本社より西比利亞の或る方面に送るべき約一萬組の品物も時局は遂にそれを中止するの止むなきに至り…一組を原毛の價格なる三四十五錢にて年內に貳千組を限り賣放つ…

東京織物仲織店

曾呂利新左衛門 …

美乳クリーム

長所と長所の學理的抱合!

美乳クリームは今迄使つたクリームの中で一番我を滿足させた、コンナ良いクリームが日本に出來るやうになつたとは化學の力を沁々嬉しく思はずには居られません、斯樣に美乳クリームの常用者は口を揃へて御禮をいます、併しそれに何んの不思議がありませう、美乳クリームは日本に初めて出來た美乳のあの强烈な白色素を基礎として更に皮膚を天鵞絨の如く柔くする秘素を加味した最新美容料――長所と長所との理的結晶でありますから之を常用すれば生地を白くし皮膚を柔く滑かにするのも道理です、加之動物性脂肪を絕對に加味しませんから白粉下として決して化粧崩れせず、さらりとした肌の快味は口で說明が出來ぬ程……。

本舗 美乳本店 矢野芳香園

胃病にイカイ胃散

驚くべき藥効

イカイ胃散は一時的の消化藥にあらず、根本的に胃を强壯にし消化力を增進す、一度イカイ胃散を服用せば、胃に無限の爽快を覺え、胃病に特有の不快の感は消失し、食慾と元氣は著しく增加すべし

定價十五錢、卅錢、五十錢、壹圓、貳圓

本舗 大阪市江戸堀 猪飼史郎藥房 振替大阪七七八番

全國藥店にあり

商況

東京株式特電

東京現株中値

東京期米特電

大阪株式特電

大阪三品特電

大阪期米特電

兵庫期米特電

下關期米特電

雜報

三品持合ひ

先物十圓丁度

正米小弛む

釜山正米氣

配五十錢安の入電

切増加

二三十錢安

鐵材更に低落

内外の低落

更に二十圓

一段下落

丸鐵

下過の嫌

金物一齊安

洋釘

平板

亞鉛線

錫

半田

内地石油漸落

麥粉手堅し

砂糖強持合

乾物類強調

下關相場

各地商況

釜山市場

京城正米市場

田中金兵衛商店

仁川正米

生魚市場

仁川期米

十一日前場（下寄跡爆發）

十錢と五錢安に寄付

三巴仲買店

五十五錢更に昂

三錢と暴騰

市場雜觀

物多實米饗賣

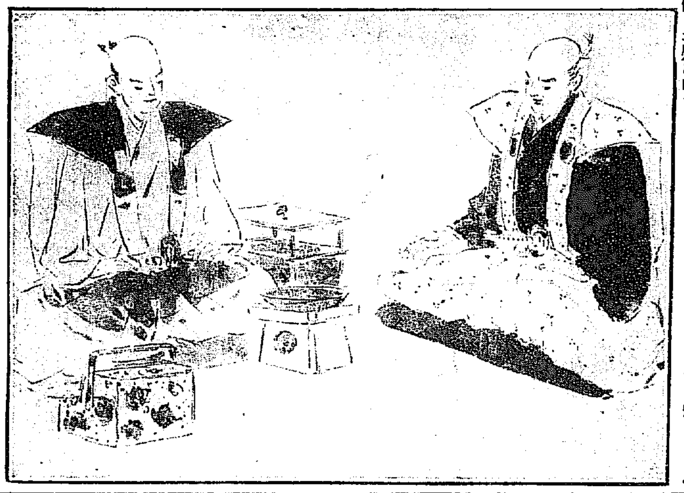
倉田[illegible]

強硬有力筋

仁川取引所 十一日の二月限

毛谷村六助 卅六番角力

八十六席　桃川桂玉口演　浪上義三郎速記



岐井谷安藝守の家來は又兵衛の一言を聞いて、此中には毒藥が入つて居るに違ひない、何飲めるものかと思つて居るが、黒田の家來も最初から劇藥を入れて飲ませる譯ではございません、醉つた處で入れるのでございます、又兵衛心配はないから浪々と酌をして貰ひ　又『此の通り飲んで御覧入れる』と息も吐ず一口に飲み干し、持つて參つた膳部へ箸を附け、向ふ附けでも汁でも有るッたけの物を一口死ムシャ／＼喰ひながら、ガブ／＼酒を飲んで居る　又『菓子も此の通り』と蕎麥饅頭を取つて喰ふ、酒を飲んだ後で甘い物を喰ふので、其の心持の惡さ、安藝守の家來が之を見て　甚『イヤ後藤氏、それでは甚だ吾々共迷惑をする、何もお疑ひ申すといふのではござらん　又『イヤ／＼箸を取らずとも口も召上がらん所を見ると疑つて居るのだ、吾々共此儘に膳部を下げる譯にはならん、それとも御疑念が晴れましたら、責てお盃だけでもお取り下さるやう』安藝守の家來互ひに顔を見合せ、中には酒の好きな者もあるから、是ならばモウ大丈夫だと思ひ、中に湯澤重兵衛其處へ進んで　重『洵にハヤ恐れ入つた、重兵衛お相手をいたさん、一獻頂戴をいたさう』　又『是は忝ない湯澤氏』サア一人口が開いたから堪らない　甚『拙者も後藤氏のお相手をいたさう』○『某も』と段々岐井谷の家來が『洵にイヤ恐れ入つた、拙者も頂戴いたす』さア飲み始めた後藤又兵衛　又『イヤ各方が然う仰せつて下さるとお取持をいたす我々満足此上もないイザお酌をいたさう』其内にお小姓が入れ代り立代り長柄の銚子を持つて參ります、初めの内は何事もございませんが、段々酒が進んで參りまするし、如何様痺れ藥が入れてあるものと見えて、愈こいふ時は安藝守蔵藝諛をいたさうといふ、岐井谷は變になつてしまつた柱へ凭りかゝり目を据ゑて口から黄色い水を少しづゝ出して　ツーン／＼と頻りに呻吟て居る、酒を飲まない奴はパク／＼と菓子を喰つて居たが、菓子にも如何さま毒藥が入つて居たものと見えて是も口から黄色い水を出して呻吟て居る、後藤又兵衛は此の樣子を見て、俗は計略充分なりと思ひ　又『汝等今喰つたのは阿片劑の菓子から明日の正午時分までは動くことが出來ない、何うだ痺れるだらう』○『ウーン、能く痺れる』又『何を云やァがる、今に並べて置いて首を斬つて遣るから待て』○『ウ、ーン、冗談しちやア叶けない、並べて置いて首を切られて堪るものぢゃァない』供方一同の者皆變になつてしまつた、其外下の方に至りましては是は堪らない、下郎の事ここで初めの内に盃を取らず、膳部へ手を付けなかつたから、勧められる儘に一人が酒を飲み初める、大丈夫だと又一人飲むと云ふので、酒をガブ／＼飲む、下戸は菓子をパク／＼喰つた、何れも毒藥の入つて居るものと見えて、黄色い水を吐いて呻吟て居る、けれども安藝守においては少しも油斷がない、先刻より盃を上げることは暫くでございます、二分に計略成就とおもひまする、十分の盃を上げはして居るけれども少しも油斷なく八方に目を配つて居る。此時長政　長『岐井谷殿、是よりは末永く水魚の交はりをしなければならん、改めて一升入蜂龍の盃を献上いたさう』蜂龍の盃といふのは盃に蜂龍が描いてある、是は呑めば酬すといふので有様の盃を作りましたもので　長『兼て聞き及ぶ、岐井谷殿には御酒家と承知いたすに依つて、一獻お酌をいたす』安『それは忝なく存ずる仰に背きまするも如何く然らば此を以て納盃といたしたく存ずる』と辭退をした。

◇奉天近事◇

◇公會堂長決定　奉天にては從來より公會堂建設の議有志者間に於て種々協議中なりしが都督府滿鐵側とも未だ意見の一致を見ざりし由なるが此の程三者の協議大ひに進捗し來りたるを以て愈々來春早々より建設工事に着手し秋頃には落成の豫定となれるが仄聞する所によれば工事費金は二十萬圓にして内十二萬圓は奉天に於て醵出すべく殘金八萬圓は都督府滿鐵の兩者より中央大街德隆公司前の空地三千坪を滿鐵より借入るべしと因に該公會堂建設の上は商業會議所なども是れに收容せらるべく更に角奉天有數の大建築物なるべしと

民會長愈々決定

撫順の奉天民會總會の折、皆川秀孝氏民會長に選任せられたるを以て直ちに總領事館へ對し認可申請手續きをなし居たるが愈々七日付認可の指令に接し愈々皆川氏民會長に決定せり。之れを以て曾つて民會長たりし西森雄氏より辭任出願ありたる後聽許されたるものなりと

旅順工科學堂

旅順工科學堂にては十二月二十三日午前十時より第六回卒業式を擧行する由（大連）

人蔘王　津村兄弟商會　京城本町一丁目　電話一四八〇番　一八七〇番

電話賣買　萬年社　京城明治町一丁目　電話一八四四

十二月十三日

陰十一月十一日　▲甲午　▲四綠暗劍たつみ（東南）　▲やぶる　▲午

▲四綠　油斷なりがたき日　吉方北東　南は凶　▲五黄　迷惑なること持込まるゝやも知れず　▲六白　腹の立つ日なり　▲七赤　面倒くさき日なり　▲八白　たらぬ事を拵つぎ込まるゝ日なり　▲九紫　目上の者より引立てを受くるか但しは何か吉き事のある日なり何ごとを行ふもよろし　▲一白　優美なる日にて此の日は一日愉快なるべし何事を行ふも吉なり　▲二黒　目先きの見えぬ損なる日なり　▲三碧　親みのある日にて位ゐのことには腹の立たぬ日なり何ごとを行ふも可なり

第五版

京城日報

本紙定價 壹部參錢 壹箇月七十五錢 郵稅 … 廣告料 … 發行兼編輯人 … 印刷人 小川三之介 發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話番號 …

京城日報
御眞影は特別建築室に奉安すべし

一

故龍山元町小學校長鈴木氏が、壯烈なる殉職は、深く同胞の哀情を刺戟し、莊嚴にして盛大なる葬儀を營まれたるのみならず、其の遺族に對する弔慰及び養學資金醵集の如きも、陸續として申込の絶ゆざる有様なるが、是れ全く美しき國民性の發揮にして、吾人は未だ世道微にして人心危きを絶叫すべからざるを事實の上に於いて示されたるを謝す。而も吾人は此の不慮の出來事のために更に一箇の注意すべき問題に逢著せるを忘るべからず。何ぞや、御眞影奉安の場所選定に關すること是なり。

二

火災は極力防止せざるべからず。然も、もとより不慮の出來事なきを保し難し。特に朝鮮滿洲等に於ては、氣候の關係上、火力を使用すること多きを以て、內地に比して一層其の危險の大なるものあり。然るに現在御眞影を頂戴しある官廳又は學校の構造は、其の防火設備の不完全なるのみならず、御眞影奉安室は大抵其の居舍內に設けあるを以て、萬一の場合には、其の職員たるもの每に身命を賭して之を奉遷せざるべからざるの責任を荷へり。是れ日本臣民として當然のことなりとはいへ、職員をして常にかゝる危險の下に立たしむるは、決して御眞影御下附の大御心に副ふものにあらず。殊に設備の如何に因りては、かゝる危險を犯さずとも十分安全を維持すべき方法のあることなれば、局に當るものは此處に考慮を加へ、常住安全を圖らざるべからず。

三

其の方法とは他なし。御眞影は廳舍又は校舍より隔離したる場處に奉安すること是なり。即ち淸淨なる一區域の地を撰び、倉庫樣の堅牢なる小建物を築き、其の周圍には柵又は塀を繞らし、常磐木の類を植ゑ、他の遊歩場又は庭園等との區畫を設け、火災を防ぐと共に盗賊等の不敬を加ふるを十分豫防し置くことなり。此の設備に要する費用は左程大なるものにあらず、精々五六百圓を投せば相當のものを得べし、是くらゐの費用を拋出するはさまでの難事にあらずして、上は畏くも御眞影御下附の大御心に副ひ、下は職員をして危惧の念を免れしめ得ることなれば、何處に於いても異論なきことゝ考ふ。記して以て其向の注意を促す。

獨逸內政多事 分裂か否か

獨逸エベルト內閣はスパルタカス團擾亂の結果將に倒壞せんとし中心人物たる無任所大臣社會黨首領シヤイデマンの辭職說さへ傳はるに至れるが

△各聯邦亦獨立せん氣勢あり 爲に現政府はヒンデンブルク元帥の斡旋を求めて各地勢兵を以て聯邦の獨立を牽制すると共に極端過激派に對抗し以て其地盤を鞏固ならしめんと努力しつゝあるが如何に苦策を弄するとも北方に於てはスパルタカス團の勢力頗る優勢なれば例令極端過激派を抑壓して現位置を保持し得るとするも結局獨逸は南北分裂を餘儀なくするに至るべしとの觀測行はれつゝあるが又一方獨逸人は露國人と異なり頗る理智に富めるを以て如何に過激思想に感染しても危機國家に迫れりと知らば翻然自覺して母國を壞滅せしむる如き擧を避くべく耐も最近に於て

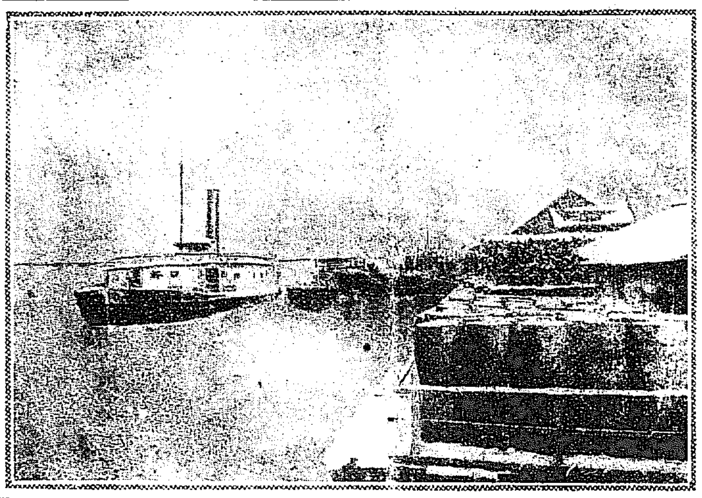
△墺匈國內居住の獨逸民族中には其地方を擧けて獨逸に合併せん意圖を有する者甚だ多く既に假樣政府に希望を寄せたるものすらありチロール、フォルラブルヒ、ブリユウン、オルマッツ等是なるが此實現を見る曉に於ては獨逸は戰敗國たるに拘らずアルサス、ローレン二州の他北方にて割讓する所あるも戰前に倍する大國となり爾後の發展膨脹措して知るべきを以て心ある者は隱忍自重稍に捲土重來を期し革命の波瀾に捲き込まれざる樣努め居るもの、如ければ聯合各國殊に境界を接する佛國は非常に警戒し種々の手段を盡し居れるもの、如く彼の巴威に於ける獨立運動の裏面にも其一端を窺知するに足れば我國も餘程警戒し今後の成行を監視する必要あるべしと觀測されつゝあり

日本國民に謝す
＝徐將軍の記者招待＝

支那陸軍の重鎭たる陸軍上將銜中將徐樹錚氏は八日正午都下新聞通信有力者を築地精養軒に招待し席上左の如き挨拶を爲せり

自分は今回徐大總統の命に依り我國大演習陪觀の爲め來朝したるが朝野擧つて便宜を與へられたるは感謝に堪へざる所也。大演習終了後、軍隊、學校其他各方面を參觀したるが是亦多大の便宜を與へられ自分の知識を啓發したる所尠からず、日本の文明は精神的にも物質的にも異常の發達にして衷心より敬服する所也、歸國の上は朝野の御厚意を報告すると共に此間得たる知識を以て我が國の指導啓發に資する所あるべし、尚特に感謝に堪へざるは日本 天皇陛下より最も榮譽ある勳一等瑞寶章を授與せられたる事にして這は自分一個の光榮のみならず實に我民國の榮譽たる也、自分は到着以來記者諸君と接觸し屢次御高見を拜聽し度き考へなりしも其の機會無かりしを遺憾とし居たり然るに滯在期已に滿ち大阪に向け出發の筈なりしを特に接伴官の許しを得て茲に諸君と見ゆるを得たるは最も欣幸とする所也。日支間には從來誤解の伏在するもの尠からざる模樣なりしが双互の事情を研究し接觸を重ぬるに於ては其の誤解を見るや必せり、誤解より諒解に達する道程は双互間の接觸に待つは素よりなれど單に政府者のみの企てに待たず須らく國民と國民との融和に據りて親善を進めざる可らず、其れには新聞の力に據ると共に諸君の努力に待たざる可らず、終りに臨み御來會の諸君を通じて今回來朝中に與へられたる朝野の御厚意を謝する者也

之に對し添田報知新聞社長より謝[illegible]妙なる譬喩を交へし日支結合論あり一同歡談裡に同三時半散會せり(東京)



◇アンガラ河の汽船 (金谷從軍記者撮影)

赤手空拳黨に告ぐ(一)
西伯利に發展せんとする……
小田柳翠

◎時に來らんとする西伯利の經濟戰に吾有力なる實業家連が此の好機を逸せずざしく出動して所在に橫たはる西伯利無盡の寶庫を開拓し各種利權の獲得又は對露貿易擴大の爲めに米、獨、英、佛、支などの實業家連と花々しく輪贏を決し最後の勝利者たらん事の希望は既に前數回に亙つて詳述した通りであるが今回は赤手空拳西伯利に發展せんとする輩は如何なる職業を選定しなば成功すべきかに付自分が先般歐露西伯利各地を巡歷した際具に見聞せし在西伯利邦人の職業狀態を紹介し聊か赤手空拳黨の參考に供したいと思ふ

◎世間往々にして赤手空拳黨の西伯利發展を頗る危險視し甚だしきに至つては厄介者扱にせんとする傾向があるのは實に慨嘆に堪へない空拳黨中には未來の大實業家大富豪の卵も決して少くない空拳を振つて猛進し巨萬の富と人望を贏ち得る者こそ眞の成功者である而して時代の思潮は漸次物質本位より人物本位に變遷しつゝある事を記憶したならば須らく社會は此等の徒を遇するに從來の態度を一變して然るべきであらう寶庫の西伯利は獨り有力者のみの專有舞臺ではない空拳黨に取つても亦好箇の戰場たるを失はない、勿論土地の狀況も究めず職業の選定もなく之れと云ふ目的を定めずして行つたら何かに打突からうと漫然出かける無謀の徒は別とし、相當の目的を立て適當なる職を有する意志强固な輩は內地や鮮滿で徒らに生活難に苦しまずとも廣い西伯利に出かけ充分なる活動を試みたならば多くの資本を要せず又假に優秀な技術を有せずとも成功すべきや必せりである。さらば赤手空拳の同胞として如何なる職業が西伯利向きかと云ふに先づ指を醫師に屈する。それから寫眞屋、洗濯屋、床屋、時計の修繕屋等であらう又鑛山の探險家等も無盡の鑛物を藏する西伯利寶庫開拓の先驅者として活躍したならば面白い雜多の發見があるであらう

◎醫師の事を述ぶるに先だち西伯利の住民の狀態を少しく說かんに西伯利露國は其總人口一億七千四百萬人の約八十%は農民で殊に西伯利は農牧の民が多い彼等の多くは殆んど教育がなく原始時代の生活に甘んじて居つて文明的生活の何ものたるかを理解して居ない、それは交通機關が不備で都鄙の聯絡が不完全であるのと從來のロマノフ家の政治が故らに人民を文明に遠ざけん爲め故ら教育の普及を圖らなかつた此等の關係で無教育者の多いのも自然の數であつて衞生觀念など有する階級等は至つて僅少で住居の不潔食糧の不完全醫療の不足などの爲め死亡率が甚だ高く一千に對する三十內外の高率を示して居る現に都村に於ける醫師の數は人口三萬五千に對し僅に一人の割合に過ぎない即ち數箇郡村を一人の醫師が掛持して居る事になる而も西伯利に來て居る露人の醫師は名醫と稱すべき程の者が少い之に反し日本醫師は診察も鄭重で露人の頭には先入主としてヤポンスキードクトルは神樣の如く崇められて居る故に日本醫師の持て方は一通りでなく何れの町でもヤポンスキードクトルの門前は市をなして繁昌して居る、從來西伯利に活動して居る日本醫師には相當な學歷ある人もあつたが多くは竹庵であるにも拘らず露人の頭も信心からで不思議に藥は効驗がある患者は片ッぱしから全快して喜んで居る、病院の設備は如何と云ふに內容は判らぬがビールの空壜見たいな藥壜が六七本も棚に飾られてあつて診察臺が一臺メートルグラスと聽診器それから檢溫器の一個もあれば立派なドクトルとして一箇月二千や三千留の收入がある滑稽なのは內地で衞生係り警部であつた人がヤポンスキードクトルで御座いと澄ましかへつて呑氣な生活を續けて居る人もあつた、こんな狀態であるから相當な醫師が病院施設を可なり完全にして彼地で開業するならば三萬五萬の蓄積は敢て困難ではあるまい又一方本邦醫學の進步を露人間に紹介し得て國家政策上の見地からしても大に進出すべきであらう

史と傳說 (投書歡迎)
虎の美人(一)

日本には虎に就ての面白い傳說はないが朝鮮には昔時より虎の多い丈け種々の傳說が傳へられて居る史上に現はれて居る虎に就ての面白い傳說を一ッ紹介しよう。

新羅時代の風習として、毎年仲春の八日から十五日迄の間は慶州の人士は競うて興輪寺の殿塔を繞つて祝福を願うたものだ、元聖王の時郎君に金現なる者があつて、一夜深更其處へ行つて獨で殿塔を繞つて祝福を祈禱して居た、處が何處から來たか一人の美人が現はれて、之れも頻りに何か祈禱しつゝ殿塔を繞つて金現の後に從いて來た、女は遂に戀に陷つて、其の態度を通ずる事になつた、金現は何うも不思議な處があるので、美人が固辭するにも拘はらず、無理に其の後へ尾けて行くと、西山の麓の門でほらしい一軒の家に入つて行く、直ちに其の家に行くと、一人の老媼が出て來て、立腹の姿で娘を詰責した、娘が有のまゝを語ると老媼の顏色が變つて、惡くは思はぬが弟が立腹しはせないかを恐れるのだから、と云つて現を其處に隱して仕舞つた、少頃して居ると三匹の虎が現はれて何うも家內に腥い氣がある、腹が減つて居るから丁度好い處だと涎を流して居る、娘と老媼は落ちついて、馬鹿な其はお前等の鼻の具合だらう、其樣な事はないと云ふと忽ち何處からか聲があつて、汝等は好んで生物の命を害するから、今に一匹を殺して仕舞ふぞ、と聞ねた、其處で三匹の虎は大いに驚いて戰慄して居た、金現は隱れ場所から此有樣を見て居たが、最う魂も身に添はぬ心地がして見て居た、之れから何うなるかと息を殺して見て居た、すると今迄の美人の娘が兄さん達に早く遠方へお逃げなさい、私が代つて罰を受けませう、と愁然として云つた、すると皆喜んで何處ともなく行つて仕舞つた、金現は益々驚いた

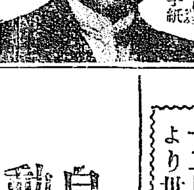
新年詞壇募集

漢詩『歲朝晴雪』五言律或ハ七言絶句 『新年雜興』(七言絶句)
短歌『朝晴雪』一人三首以內
俳句『初東風』一人三句以內
(注意)締切十二月十五日、用紙半紙型、京城日報社編輯局新年詞壇係宛て投稿の事

手紙文庫
(應用自在)

▼どんな手紙でも頭を痛めず即座に書ける

▼苦心の大著 今回完成せる新體美文手紙文庫は有名なる文家川上眉山先生高足岩田鳥山先生が半生の心血を傾倒して完成せし苦心の大著にして全卷を春、夏、秋、冬、雜の五卷に別ち各卷を更に月別とし其月々に必要なる用語、題句、文例を漏れなく集め其數實に一千三百餘種に達し悲しい手紙にも嬉しい手紙にも優艷な手紙にも應用自在



(此外の叙説 … 手紙文其他婚禮、祝賀、見舞、通用、誘引、照會、依賴、謝禮、招待、訪問、返事、贈答文、借用 … に到る迄本文に …)

▼定價 … 特價 …

△東京市 … 手紙文庫刊行會 振替東京 …

書翰文用語集 一冊無代進呈

法人登記

[illegible]

右大正七年拾貳月五日登記 京城地方法院 旅善出張所

一 拾貳競爭入札ニ附ス詳細ハ十二月二十一日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

朝鮮總督府

目次大要

○緒言○建築様式の起元○埃及○アッシリヤ○波斯○希臘○エトルリヤ○羅馬○薩珊○初期基督敎○東羅馬○ローマネスク○ノルマン○シシリー島○ゴシック○復興式○伊太利○英吉利○露西亞○亞米利加○印度○サラセン○安息○支那○朝鮮○日本△以上各國の建築様式を細密に區分し懇切平易に說述す。

工學博士 塚本靖先生題辭
工學博士 大澤三之助先生序
森田洪先生編著

世界の建築様式

本書は數百の挿圖と其解說により何人にても各國の建築様式を知得せらるる現今斯界の渴望新書也。

○菊判洋裝全一冊 ○紙數壹千七十頁 ○挿圖木版及び寫眞版 六百六十餘個

壹千部限 特價金八圓 (正價十圓) 內地送料卅四錢 海外四十五錢

東京市京橋區南槙町十三番地
工業書肆 建築書院
(振替貯金東京九四一八番)

賣捌 京城本町二丁目 振替京城二二五番 電話二〇三八六・三七六 大阪屋號書店

東京市外池袋に新築せる工場の一部

サンエス萬年筆の第一位を占むる所以

完備せる工場に於て最善を盡す熟練の工人を有す而して器械は精良材料は潤澤なり品質優秀にして而も價格の低廉なる所以此にあり規模未だ大ならざれどもサンエスの工場は正に東洋に於ける唯一のものたるを斷言するに憚らず

▽工場面積 三千坪 (所在東京市外池袋)
▽職工總員 五百九十一名 (女工を除く)
▽主要機關 十五馬力電動機 外に各工作部專用の電動機十一台
▽執務員 五十八名
▽生產能力 九十一萬本 (一ケ年に於ける仕上り高)

品質の優良東洋第一を以て許さるゝサンエス萬年筆は價格頁八拾錢より拾圓まで二十餘種を具ふ賣捌は全國到處の文具店

□萬年筆用 サンエス・インキ 金拾錢

關西代理店 大阪東區瓦町 澤井幸助商店

自動車營業

種類 ハドソン 六人乘 二臺 / ビーイック 六人乘 一臺 / フォード 四人乘 五臺

料金 ハドソン 一時間 一五圓 半日 十五圓 一日 二十五圓 / ビーイック 一時間 一四圓 半日 十二圓 一日 二十四圓 / フォード …
▲時間貸にして一時間超過後は以上一時間每に四圓三圓

右一般の御需要に應じ可申候

京城 朝鮮ホテル 電話二七〇八番・二七〇九番

福引 景品 進呈
歲暮大賣出
十二月十二日より卅一日迄

▲雜貨洋酒食料品菓子類其他御贈答品各種澤山取揃居候

△商品切手は──雜貨、食料品等に通じ又東京、大阪、神戶、京城に御引換致る便利に御座候▽

京城本町二丁目 電話二七番四七五番
龜屋

最新刊

新刊紹介 …

ぴんぽん道具 … 九五
宗教式北國 … 七五
八年文藝日記 … 八〇
同 新婦日記 … 六〇
同 家政日記 … 八〇
同 修養日記 … 八〇

佛教の新研究 定價一圓七拾錢 送料十二錢
詳註 友那俗文 … 上製 竹內 … 一、〇〇〇
米國憲法の由來及特質 … 一、〇〇〇
前後の食料品救濟策 … 七五
戰後の各國經濟界 … 一、五〇
投資物の比較研究 … 二、二〇 六

花環花東花籠作方 定價九十錢 送料 …
美麗なる箱入書翰箋 …

京城本町一丁目 大阪屋號 電話六八六番 振替京城二五七番

一 石摸(切込) 壹百噸 右競爭入札ニ附ス詳細ハ十二月十二日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

の感を覺ゆるや新たに人氣の[illegible]を來し買方の恐怖的踏切續出し[illegible]ならんと豫想せられ一般の恐慌[illegible]して傳へられたるより[illegible]は著しく加はりたれども本月に入り[illegible]入軟弱に傾き買方の恐怖[illegible]會となるや漸く[illegible]落して東株は過般の高値より四十[illegible]進みたる說義は曖昧となり或は其[illegible]の買[illegible]の企然誤りなりしにあらず[illegible]や[illegible]一時沈滯せる樂觀氣[illegible]して市場の多數は深き氣迷ひ狀態に陷れるもの、如し而して向後一般商品は更に試落し破綻の[illegible]

▲薄弱なる買玉 [illegible]整理したる關係上前途の[illegible]幾分回復昂上の機運に向はんも[illegible]は越年を共に一陽來復の好機運を醸成せんかと期待せらる要するに向後の經濟界は頗る複雜多端となる[illegible]

[illegible]
一日 [illegible] 十二日 十二日
二日 [illegible] 十三日 十四日
[illegible] 十四日 十五日
[illegible] 十五日 十六日
[illegible] 十六日 十七日
[illegible]は二週間後▲種類の異る每に用紙を更ふる事總て一種二句以內の事▲發表後一週間以內に剽竊又は同案發見通告者には五十錢賞稱券を呈す但何誌と明記に限る▲宛名は京城日報社編輯局 [illegible]

◇日本の誠意を嘆賞す
華盛頓ポスト紙の宮殿下歡迎辭

【華盛頓來電】華盛頓ポスト紙は十二月八日東伏見宮殿下歡迎の辭を掲げたるが其の要領は『殿下は南米利加に名譽を與へ且つマウント、ヴアノン御訪問の爲め華盛頓に御來遊あり日米兩國が聯合國と共に人類を保護する爲め協戮せるに顧み殿下の華盛頓記念御訪問は最も時宜を得たるものなり日本は將に成立せんとする國際聯盟の一員として信義を遵し完全に義務を履行し他日該聯盟が永久に確立せんか日本は必ず其有力なる一員たるべし日本が其約束を格守して渝らざるは十分期待し得べし日本の名聲を重んずる觀念及び其極東に及ぼすべき關係を考慮するに當り聯合國をして確信を有せしむべく日本は目下露領亞細亞に於て頗る困難なる事情に當りつゝあるが世界は遠からず極東の帝國がブオルセブルス鎭壓の爲め如何に努力せるかを深く諒解するに至るべし殿下は米國及び其他聯合國に對し日本の誠意及び好意を代表し給ふ是れ米國人が殿下を歡迎し一路平安を祈り奉る所以なり』(東京特電)

◇三國代表者一致

倫敦會議は米國代表者の出席無かりしも英、佛、伊三國代表者間に於て左の諸項に就き意見の一致を見たり(倫敦電報)

(一)前獨帝の審問(二)休戰期間の延長(三)講和會議の時日(四)獨逸に要求す可き賠償額及び性質(五)擊沈されたる聯合國船舶を獨逸商船を以て補充する事(六)獨逸殖民地の將來(七)歐洲に於ける新興國(八)食品の供給及び輸送方法

◇勞働者武裝可決
獨共産主義的意見勢力を得

獨逸の工業中心地にては極端なる共産主義的意見勢力を得來り過激社會主義者は中産階級と戰ふ爲勞働者は軍隊を有せざる可らずと言ひ滿場一致勞働者の武裝を可決せり(倫敦電報)

◇新共和國宣言か

シユレスウイツヒ、ホルスタインは近く共和制を宣言せんとしつゝあり(倫敦電報)

▲附記 シユレスウイツヒ、ホルスタインは普魯西の一州にしてシユレスウイツヒ、ホルスタインの二部より成る、波羅的と北海との間に在り面積七千三百三十八方哩人口約百五十萬、首都をシユスウイツヒと稱す

◇アスキス氏首相聲明承認

アスキス氏は其演説に於て『余は損害賠償問題に關し首相聲明の要償を承認するものなり』と述べたり尚氏はウイルソン氏の歸國せざる中に國際聯盟の事實上の端緒を得ざる可らず英、米間の協定は平和の最良保障なりと聲明せり(倫敦電報)

◇送還の英俘虜數

休戰條約調印以來俘虜將校二千三百十名、士卒五萬六千六百九十四名、人民二千七百五十二名は敵國より釋放され英國に送還されたり(倫敦電報)

◇ウ氏巴里到著期

渡佛の途にある米國大統領は來る十四日巴里に到著の筈なり(紐育電報)

◇徐段對南策商議

九日徐總統は段祺瑞氏と和議に關し商議し(一)代表者の權限(二)中央讓歩の程度(三)代表者の使命の三件に就き意見を交換せるに段氏は(一)南方が不適當の條件を提出せる際は代表者は中央の命令を請ふ可き事(二)國會問題を加へざる事との意見を述べ對南方讓歩の程度は更に研究を爲す事となりたり(東京特電)

◇文武官敍位

十日文武官三百二十五名に對し敍位の御沙汰あり午前十時より宮中南溜間に於て敍位式行はせられたり(東京特電)

◇兒島總長動靜

兒島總務總長一行は十一日午後五時祖里[illegible]鷲棲山に赴き一泊十二日午後一時米祖憲兵分隊の狀況視察同四時[illegible]鐵にて全州に向ひ同地一泊の豫定なり(祖山特電)

◎前獨帝引渡問題

佛國首相クレマンソー伊國首相オルランド英國宰相ロイドジヨージ氏等によりて開催せられたる所謂倫敦會議なるものは既に終了を告げ佛國首相は歸途に就けりと云ふ同會議の内容は不明なるも例の前獨帝處分問題は附議されたるもの如く即ち和蘭に交渉しつゝある前獨帝引渡しに關しては英佛側にては強硬に之れを主張し米國にては之れに參與せざるが如く傳へられしも一部の人々は之れに同意を表し居れるもの如くなれば或は和蘭に對し前獨帝の引渡しを要求するに至るやも知れず然し從來の慣例に依れば交戰國の元首若くは兵士にして中立國に逃入せるものは中立國としては之れを抑留するの權利と義務を有し他の交戰國よりの要求により之れが引渡を爲すは屈辱の如く見做され來れるも四圍の情勢によりては之を拒絶するを得ざる場合なきにあらざれば若し聯合國に於て獨帝の引渡しを要求するに於ては和蘭は如何なる態度に出づるや大に注目すべき問題なり(某消息通談)

◎歐米航路運賃

歐洲航路の往航運賃は自由船にありて最高雜貨千志を唱ふるに至りたるが昨今に於ては喜望峰經由の地中海航路に改められたる關係はあれど海上の危險も減少せし爲船腹の自然緩和となり目下六百志に低落し氣配尙ほ軟調を帶ぶるに至れり而して復航にありては英國が殆ど凡ての商品に對して輸出を禁止せるあり積荷著減の結果として殆ど無相場の有樣なるが爲め戰時中と變化もなく現在鐵の積荷卅五志見當にあり往復航運賃を表示せば左の如し

	最高	現在
▼往航		
命令船	一〇〇〇志	六〇〇志
自由船	一、〇〇〇志	同
▼復航		
命令船	三五志	同上
自由船	三五志	同上

米航にありては往航雜貨一時四十五弗乃至五十弗の高値を唱へしも今は社外船の如き僅に十二三弗即ち約四分の一弱に低落する事となりしが獨り復航運賃は鐵の如き其輸入の盛んなる爲め自から昂騰し十六弗見當迄ありしもの今は四十弗をさへ示すに至り歐航とは全く反對の現象を呈し居れり(東京)

◎廣東政府回答
五國勸告を感謝

日英佛米伊五國政府の勸告に對し廣東軍政府は二日附を以て廣東駐在五國領事を經て左の如く回答し來れり(東京)

軍政府は其主義と聯合國の力爭しつゝある主義との合致せるを欣幸とす護法主義者が戰鬪を持續せるは個人の感情又は法規の末節に拘泥するに非ず實に軍國主義に反對し支那に於ける民主々義を確保せんが爲めなり友邦列國政府が支那に於ける内亂を終熄し平和を恢復する有効なる手段は主戰派に對する財政援助を中止する事にあるを諒得せられしは感謝措く能はざる所なり主戰派も今や平和の希望を有す依つて軍政府は既に停戰を命じ且和平會議開會を北方に提議したり平和は繼續の保證も無く且何時再び平和を攪亂すべきやも計り難き軍隊を其儘存置するが如き姑息彌縫のものたるべからず政務總裁は妥協が法及び支那國民の幸福に對する熱誠の基礎の上に爲されざる可からざるを主張するに於ては英佛米伊の意嚮と一致す左れば支那は支那をして有力且進歩的なる政府を樹立せしむべきを目的とする茲に支那の幸福を念とする佛英伊日米政府の厚誼を深謝し殊に支那をして列國の現に企圖する改造の業に參與せしめんことを顧念するに對し深甚の謝意を表するものなり

◎總督府豫算發表期

總督府大正八年度豫算は各殖民地豫算と共に大藏省にて査定中なるが來る二十日頃には全く査定を了して發表を見る可し

◎總督府政府委員

第四十一帝國議會朝鮮總督府政府委員は來る二十五日議會成立後直ちに任命を見る可く該委員は昨年と同じく山縣政務總監鈴木度支部長官大塚參事官河内山司計課長の四氏なる可しと

◎水利事業計畫
面積十萬六千餘町 工費二千餘萬圓

總督府にては朝鮮産米增加の目的を以て夙に一大水利事業を起すの意ありしも經費豫算の關係上之を國營に附す可きか將た民營に委す可きか方針確立するに至らざる爲め民營の水利事業に對しては補附を加ふるの傾きなきにあらざりしが全國を通じて産米不足より來る最近の恐慌に鑑みる處あり愈大正八年より向ふ十箇年計畫にて十萬六千町歩此工費町當二百圓總計二千萬餘圓の一大水利事業を民營に附することゝし總督府より工費の一割五分乃至二割即ち約三百萬圓乃至三百四五十萬圓の範圍內に於て之を補給することに決定し差當り此の經費として明年度總督府豫算に十五萬圓を計上しある由なるが猶ほ之が調査設計費にも補助す可く技術員增員に要する經費二萬圓をも支出す可しと

◎金融聯合會使命
機能の發揮に努めん

金融組合令の改正に伴なひ過般京城の設立を見たる京畿道金融組合聯合會は當分の間京畿道理財係內にて其の事務を取扱ふことゝなりたるが同會理事の談に據れば從來金融組合なるものは各地に其設立を見主として農民に關する資金融通其他の事業を爲し居りしが時勢の進展に伴ない單に農民のみならず一般商工業に關聯して其事業を擴大するは時局に際し極めて必要事にて從つて單に地方的機關たるに止らず都下々街地にも其必要あり一般中產階級を以て其の顧客として大いに努力する所あらむとす然るに斯る機關の設置が單に一部知識階級にのみ認識せられ一般社會に周知せられざるやの感あるは最も遺憾とする所なり從來の金融組合は各々孤立せるものにて今般其設立を見たる聯合會は殖産銀行を其統制機關として之を統一し金融組合の機能をして今後遺憾なく發揮せしむべき覺悟を有す金融組合聯合會の監督者としては從來の地方金融組合の如く京畿道の理財課を以て之に充て居れりと

◎鮮鑛業令改正

此の程閣議を經たる朝鮮鑛業令中改正の件は十日愈御裁可を經たるを以て近く朝鮮總督府令の形式を以て公布を見るべく右は同令第四十二條を改正して金銀鉛鐵の鑛稅を廢止し內地鑛業法と同一にせるものなりと

◎モンド瓦斯好況

政府特別の補助の下に横濱の豪商茂木惣兵衛、原富太郎氏等以下十六名の發起に成る無煙炭供給を目的とする平壤モンド瓦斯株式會社設立の件は東京に於て非常の好人氣を以て迎へられ總株二十萬株の四分の一は既に滿株の盛況を呈せるが同會社は資本金一千萬圓にて總株の四分の一は京城の發起人の特殊に屬するが或は其一部を揃いて公募に附するやも知れず因に朝鮮側よりは中村、諸石[illegible]郎、[illegible]金三郎氏發起人に加はり居れり(京城)

◎京城局交換拂渡

京城郵便局十一月中京城に於ける[illegible]交換所振替貯金爲替の交換拂渡狀況を聞くに內國爲替二十四萬六千三百十七圓、外國爲替二百三十圓、振替貯金百五十萬六千百六十三圓此拂渡總額百八十一萬二千七百十圓にして之を昨年同期の百六萬四百三十圓に對比するときは七十五萬二千二百八十圓を增加せり

◎聯合會披露宴

金融組合令改正に伴なふ京畿道金融組合聯合會は這回愈成立したるを以て同聯合會理事長たる松本京畿道第二部長は十一日午後六時朝鮮ホテルに於て披露宴を開催すべく宇佐美、鈴木、小原各部長官松永[illegible]長官有賀殖銀川上東拓理事並に和田理財課長衛本[illegible]議副長其他官民內外人中產階級の重なる者及び新聞通信雜誌社の代表者五十餘に對し招待狀を發せりと

◇セミヨノフ部下將校銃殺

浦鹽に在りしセミヨノフ大佐部下將校五名はコルチヤコフの命にて逮捕浦鹽に護送され軍事裁判に附せられ銃殺さる尙コルチヤコフの命にてオーウコフ少將はセ軍討伐の爲め既にオムスクを出發し烏蘇里線に在るカルペコフは之に對抗準備中なり(哈爾賓特電)

◇ホ將軍々隊集中

既電の如くホルワツト將軍はセミヨノフ軍に對し軍需品輸送を禁止し同時に滿洲里に自己の軍隊集中を命じたり尙ほ聯合軍の監視嚴重なるを以て軍隊の衝突は起らざる可し(哈爾賓特電)

◎教育家視察團入京

熊本縣教育家の青島、滿鮮視察團は十一日午後七時廿分南大門着不知火旅館に投宿せり尚熊本縣人會にては十二日午後六時より京城ホテルに於て歡迎會を催す由出席希望者は同ホテルに申込むべしと因に團員一行次の如し

▲團長 熊本縣立玉名中學校長沼田傳▲同葦北郡西部小學校長 江藤誠藏▲同八代郡鏡町橋本一男▲同王上郡網田小學校長吉泉良治▲同八代郡八代南部小學校長高木虎雄▲同上益城郡上小學校長福田升之助▲同飽託郡龍山小學校長早川爲師▲同鹿本郡 川小學校長吉村卯一郎▲同熊本市熊本小學校訓導大谷源次▲同鹿本郡來田第二小學校訓導多田隈熊彦▲同球磨郡中部小學校訓導有田榮熊以上

◇借款主任任命されん

外務省にては支那方面借款主任官に岡部書記官を猶西伯利方面借款主任官には廣田弘毅氏任命さる可し(東京特電)

◎共同倉庫目的變更

在鳥致院共立倉庫物產株式會社は從來資本金十萬圓を以て倉庫業保險代理業諸米穀其他物資の搬出入業に從事を目的とし經營し來れるが今回其目的の變更を爲し從來の業務以外更に在品に對する金融業をも營むことゝなり十二月十日附を以て許可を得たりと

◎物產會社設立認可

尹定鉉外六名より其筋に出願中なりし物產株式會社は今般設立を認可されしが右は資本金三十萬圓京城府に其の本店を置き內外諸物品の賣買及び輸出入貿易金融媒介並に商品擔保貸附等を事業の目的とするものなりと

◎鹽業會創立事務所

朝鮮鹽業會創立事務所は今回京城本町二丁目三元堂跡に設置せられたり

鑛業登錄
(自十一月廿六日至十二月二日)

▲鑛業權設定

金銀鑛 江原道[illegible]郡本周面 三十四萬千五十八坪 道川長之助 柿本秀平 太田周次

金鑛 全羅南道求禮郡長文面 二十一萬五千五百十六坪 金平居 朴敬倫 金完根

[illegible] 慶尙南道密陽郡清道面 五十萬八千三百九十八坪 崔成鎬 曹敬化

銅鉛鑛 [illegible]郡延曲面 三十二萬九千八百四十七坪 佐伯合名會社

鐵鑛 平安南道中和郡新興面 九十二萬三千三百一坪 [illegible]

タングステン鑛 江原道寧越郡[illegible] 二萬二千五百坪 尹致鳳 金[illegible] 尹滋河

鐵鑛 平康郡高挿面 七十七萬千八百坪 中川湊 齋藤新一郎

金銀銅鐵 慶尙南道河城郡[illegible]面 九萬六十四萬八千五百二十九坪 [illegible]

▲鑛業權消滅

平安北道渭原郡密山面 同

慶尙北道尙州郡中東面 醴泉郡[illegible]面 同

平安北道碧山郡雲山面 同

平安北道[illegible]山郡[illegible]面 同

咸鏡南道昌地郡大德面 同

江原道[illegible]郡平康面 同

咸鏡南道新興郡東上面 同

咸鏡南道[illegible]郡[illegible]面 同

京畿道楊平郡砥堤面 同

咸鏡北道[illegible]郡鎭川面 同

同 永同郡黃澗面 同

平安北道熙川郡北上面 同

江原道原[illegible]郡[illegible]面 同

咸鏡南道文川郡[illegible]面 同

咸鏡北道城津郡鶴城面 同

▲共同權者脫退

平安南道安州郡[illegible]谷面 林錫奎任意脫退

咸鏡南道文川郡雲林面 安岡貞三郎死亡脫退す

京畿道楊平郡[illegible]面楊東面 李圭定任意脫退す

人事

▲赤間嘉之吉氏(福岡選出代議士)十一日夜入京天眞樓へ

▲西村伊ノ吉氏(明治鑛業平壤出張所長)同上不知火へ

▲山中清氏(釜山田中造船所主)同上山本へ

▲開平源藏氏(熊本商店主)同上

▲須合幸三郎氏(青島民政部技師)十一日京

▲森明治氏(龍頭木浦支店長)同上

▲飯島寬一郎氏(全南道技師)同上

▲宮本正啟氏(忠南道技師)十二日退

鳥瞰錄

◎朝鮮の子供に不良少年の多いのは事實である▲而し日本の不良少年とは少々行き方の違ふ處は註目すべき問題である▲日本の不良少年の多くは日本の其の如く家庭とか教育とかの關係もあるが朝鮮不良少年の多くは孤兒である而して彼等は生きんが爲に不良の行爲を敢てするのである難しく云へば彼等の不良なる行爲を敢てするのは生んとする慾望の發動である▲彼等の多くは孤兒である而して彼等は棲むに家なく食ふに食物なく彼等の有するものは唯彼等の小なる身體一つである▲試みに諸君南米倉町の市場に行つて見給へ日中となく夜となく野獸の如き朝鮮少年の二三が何時も徘徊して居る▲彼等が垢と[illegible]に跳しく[illegible]を蔽くボロに隱して悍氣なる眼で行人を窺見する樣は先づ人間界よりは大分違い▲某氏が或る南大門通を通行中路傍の塵箱の蓋の動くを見て不思議と箱中を覗くと三人の野獸少年が一夜を其內に忍んで居たものと知れた▲彼等が成長して如何なる者になるかは知らぬが恐らく彼等は社會の落伍者として其慾を滿たさん爲には彼等特有の惨性を發揮するに相違ない▲世の具眼子は彼等に對して如何なる觀察を下して居るかは知らぬが思ひ來らば戰慄を禁じ得ないのである▲何あに彼れは彼れ丈けさ勿論問題にはならないが一體社會の秩序を維持するには斯る小問題にも尙ほ注意しなければならない▲大きく云へば人道上から彼等を研究し彼等をして彼等の境遇より脫しめんとするのが社會有識者の義務ではなからうか▲と云ふ投書があつたから本欄に掲ぐる事にした

東京より

◎文官任用令改正は其後横田法制局長官の手許にて調査の歩を進め[illegible]人材登用の途を廣ぐに在り既制を存する以上從來の[illegible]僻遠に多くして[illegible]止等の突飛なる改正は之を避くべし[illegible]して特別任用の下に置く乎は研究を要すべき問題也原首相は今や此點に關して考慮中なるが如し[illegible]を舉ぐべき希望一致せり只當人選官の際は此改正と共に大いに研究すべき大問題也

大阪期米
十一日前場 高値 寄付 安値 [illegible]

下關期米
安値 三八〇一 三八四二 [illegible]

東京期米
十一日前場 東京 同 同 新 新 新 一八四·九〇 一四二·〇〇 一三五·六〇 一二九·五〇 [illegible] 二二三·〇〇 一九三·二〇

仁川期米
▲十一日後場 大阪前場六錢高移りにて當限三十三圓中限三十二圓十錢先三十一圓[illegible]

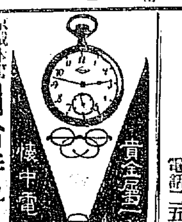
仁川米豆取引
十一日の十二月限 後場 寄付 三十一圓七十錢 [illegible]

公告
大正八年中ノ商業登記其ノ他法令ノ規定ニ依リ公告スヘキ事項ハ當院管內ニ於テハ京城日報、仁川支廳管內ニ於テハ朝鮮新聞及前記以外ノ出張所ニ於テハ京城日報ニ之ヲ掲載ス
大正七年十二月十日
京城地方法院

謹近火御見舞
仁川松坂町一丁目 神永載吉 電話二二六番

謹近火御見舞
仁川花房町一丁目 木村中一 電話三〇番

謝類燒御見舞
昨夜類燒の際は早速御馳付被下難有御禮申上候先は略儀乍ら新聞紙上を以て御禮申上候
仁川松坂町二丁目 今中別宅 電話一五一番


京城本町二丁目 川合時計店 電話二一九一 振替京城二一九一
貴金屬一式 懷中電燈

京城 ミツワ家庭藥 熊平支店 電話六二四番 二二五番 振替京城一一三番

天下一品 白鶴 增本酒店 仁川本町一丁目 電話九〇番

鐵道拂下品販賣 冬羅紗洋服外套 毛皮胴着並防寒具 軍隊拂下品一式 トンビ大小高價二重廻 和洋古衣服類各種 多少に不拘御用命被下度候
龍山元町二丁目 金子奧市商店 電話長一〇五番 振替口座京城三八二三

京日案內

裁縫女入用 年廿五歳以上 悉細面談 京城新町 三六一番 君乃江

外交員募集 收益多大 有望なる者希望者は午後五時より七時迄に來談ありたし 電話二八一〇 南大門通五ノ六七 高木

男女店員募集 十九歳以上の者數名 希望者は履歷書持參本人直接來店あれ 市內に確實なる保證人を要す 南大門通二丁目 羅紗商睦商會

雇入 精米工場に心得ある者にし至急雇入たし希望者は履歷書送れ 奉天新市街 奉天精米所

細叺稻扱機械 特許專賣 各道郡廳御用 並ニ綿打機械

製造發賣元 大阪府大和町 東屋商店 振替京城五六八〇番
作業不完全ナルトキハ何時ニテモ代金返送可仕候 一日金壹圓以上利益保證◎番者ハ返信料付申込アレ

到る處の文房具店にあり
ラーヂ萬年筆

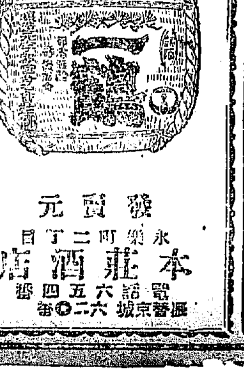
賜宮內省御買上 賜各宮殿下御買上
東京市日本橋區 文房具問屋學習院御用 酒井長次郎商店 振替東京四九五三
男子用金五圓拾錢より金十圓迄 婦人用金貳圓拾錢より

寫眞 京日寫眞製版部 出張撮影 寫眞銅版 亞鉛版

絕對品質本位
於全鮮釀造品品評會 第壹等賞受領
[illegible]味噌
新式機械製摺味噌は各於御家庭大歡迎
滿鮮到る處の雜貨店にあり
製造元 京城 島屋本店

笹山章著 新案獨學 イロハ辭典付 鮮語自在
誰れにもすぐに間に合ふ 必ず上手になる理想的新案獨學書なり
定價二百頁 五十錢
發行所 京城日報社代理部 (振替京城三〇〇番)
發賣元 京城太平通 ニツポヤ書店

小 カスミ網 用
極上絹糸製◎其他雁鴨兎網無雙網等種々あり
高さ六尺 横巾三間 二圓四十錢
高さ六尺 横巾五間 四圓
京城本町二丁目 吉陽商會 電話二二四番 振替京城三六番

優等清酒

發賣元 永樂町二丁目 本莊酒店 電話五六四番 振替京城六一二〇番

發賣創立明治二十八年 各時計 蓄音器 卸商 貴金屬製作卸所
京城黃金町二丁目 喜多金光堂 電一〇一五 振替京城七八二

醫療化學器械諸機械一式 藥種賣藥卸商
仁川本町 北島藥店 電話三四 振替京城六七番
京城本町 永樂町 北島藥店支店 電話七六一番

京城 朝鮮銀行 拂込資本金[illegible] 電話六〇一番
當銀行ハ預金貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
支店 東京、大阪、神戶、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎮南浦、群山、木浦、會寧、安東縣、奉天、大連、長春、哈爾濱
出張所 開原、四平街、鐵嶺、旅順、遼陽、吉林、上海、天津
其ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

の根本方針は[illegible]の二三の者に示し相當の諒解を得たれど信ぜらる

◎改正の大眼目は言ふ迄もなく人[illegible]

◎併し原內閣は文官任用令を根本より破壞せざるべし其撤廢は勿論總督文官制陸海軍大臣軍人制度[illegible]

◎世論の[illegible]合撤廢也之を斷行して各省每に其範圍を限定するか若くは獨斷主義により勅任官中地方長官をも包含[illegible]關により大に開かるべし有識者は其從斷たるこ獨斷たるこを問はず秩序的の改正を行ひ適材適所の實[illegible]

◎「使命は重し……」
牧野講和委員一行を載せて 滿船飾の天洋丸出發す

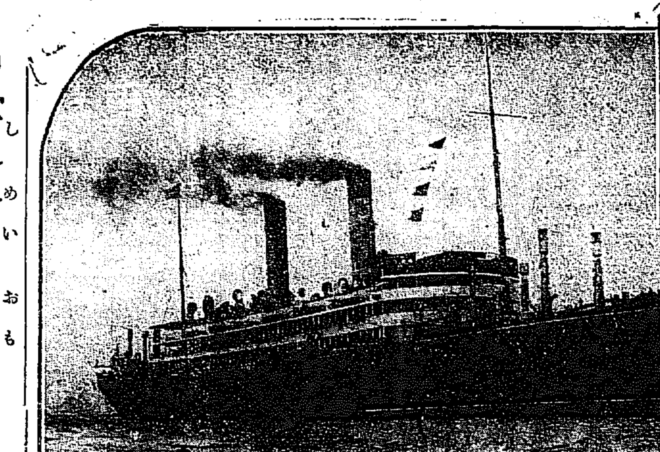
◇官民萬餘の見送の高唱する『萬歲』は耳を聾して

講和特使一行は豫定の如く十二月十日午前十一時橫濱埠頭着牧野特使は東洋汽船會社中島重役先導にて竹下奈良兩中將其他隨員と共に奏樂の裡に乘船せり埠頭は

▽大使一行の 行を盛んにする萬餘の見送り人を以て埋められ此日天洋丸は前古未曾有の晴れの舞臺に上るべき一行の爲めに特に滿艦飾を施し尙ほ數個の汽船に凱旋門を設け婦人休憩室も一行の使用に供し食堂には萬國旗を中央に吊るし橫濱市其他より贈れる三鞭酒を食堂に飾れり、東洋汽船淺野社長は特に一行の爲め

▽三鞭酒を拔 いて敬意を表し見送りの內田外相は離れ彼れと云ふことなく愛嬌を振撒き見送りの伊集院元帥島村大島兩大將井上正金頭取の諸氏は交々牧野男等と握手を交換す刺を通じて長途の健康と成功とを祈れば牧野男は『使命は重し、是れを全うすると否とは實に國民多數の後援に俟たざるべからず』云々と述べ聽て十一時四十分見送り人一同下船するや牧野男は一行と共に甲板上に現はれ正午

▽解纜の汽笛 に和して萬餘の見送人は萬歲を高唱し耳を聾せん許りなり、天洋丸は是と同時に岸を離れ一行は見送り人の見わずなる迄甲板上にて頻りにハンカチを振りつゝあり斯くて天洋丸は橫濱沖合にて檢疫を濟ませ午後五時半愈米國に向け出發せり而して天洋丸が橫須賀沖合に來るや橫須賀鎭守府より軍艦一隻水雷艇一隻是を出迎へ房州沖迄見送り空中には飛行機五台是と雁行して特使一行を見送りたり(東京特電延着)



◇牧野特使と天洋丸◇

◎結局組合債か 元町學校善後策

燒失せる龍山元町小學校の善後策に就ては一般焦慮措く能はざる所なるが先づ授業の點に就ては目下燒け殘り校舍と龍山小學校並に舊普通學校とに依り支障なく授業を行ひつゝあれども校舍の再築は到底遲延を許さざる所なるべく今舊校舍同樣の建築物を設けんとせば約十餘萬圓を要すべく此の內燒失建物の保險料約三萬圓ありと雖も現時の組合財力にては到底殘額の支出難しかるべければ結局組合債を起すに至るべしと

◎安東の火事 二戶三棟燒失

十一日拂曉安東大和橋通り五丁目朝鮮旅館と盛職商川栗方との間より失火し東隣の山本旅館に延燒し二戶三棟を燒失せるが消防出動せる爲め大事に至らず同四時半頃鎭火せり原因、損害は目下調査中なり(安東特電)

◎十六歲の少年强盜
桃山遊廓の裏山にて 憲兵隊の刑事なりとて四十男の六十餘圓入の財布を强奪す

◇……娘を落籍する爲に金を持つてゐるのを話したので……

九日夜龍山桃山遊廓大島町裏手の高地に於て珍奇極まる强盜事件演ぜられたり今其顚末を報ぜんに去四日以來龍山元町二丁目瀨戶屋旅館に投宿せる長崎縣南高來郡南大三東村字東空閑農業高松才助(四二)と云へる者あり同人は目下桃山遊廓彌生町桃の家に娼妓稼業中の實の娘藝名高丸事高松ヤチ(一七)を

▼落籍する 爲め金千圓を懷中して渡鮮したる處落籍代千圓にては不足なれば相談に應じ難き旨樓主よりの返答あり、才助は止むを得ず不足金を至急送附するやう鄕里に宛打電請求し置き徒然なるまゝに九日夜桃山遊廓素見にと出掛けたる處大島町の曲角にて愛知縣生れ當時龍山元町一丁目六十番地無職野口龍三(一七)と出會ひ初對面乍ら二言三言の

▼戲談を交 はし一緒に素見し步く龍三の發議にて大島町の飮食店和田タイ方に立寄り互に盃を擧げ一杯機嫌にて才助は娘を落籍する爲め渡鮮せし旨を打明け大金を所持せる事を白狀せり。茲に於て不敵の少年龍三は忽ち惡意を生じ折角の事に鮮妓買に出掛けては如何と巧に說いて才助を誘き出し才助も直ちに龍三の言に共鳴して飮食代二人分三十五錢は自ら支拂ひ龍三の後に跟いて行く中龍三は大島町裏手の高地

▼行人稀な る處に到り俄に態度を改め實は自分は龍山憲兵分隊の刑事なりお前の行動に怪しき點あれば財布と一緒に書類を出すべしと命じ續けさまに二ツ三ツ才助の橫面を毆りつけて現金六十圓入りの財布を引奪り明朝憲兵分隊にて取調の上財布及び書類は返還すべしと云ひ立去らんとせしより才助は慌て、然らば貴方が憲兵さんならば金の預かり證及署名を一筆願ひますと自分の手帳を差出したり龍三は鉛筆を以て該手帳に英字とも日本字ともつかぬ

▼無茶苦茶 な文字を塗り付けて才助に渡せば才助は微なる月光に透し見て懷中に納めたり、龍三は瞞着したりと悠々として其の場より姿を消したるが取殘されたる才助は急轉直下の形勢に呆氣に取られて茫然として佇める折から一鮮人通り掛りて才助より委細を聞き加害者は必ず强盜ならん早く憲兵隊に屆出づべしと敎へたれば同人は早速元町分隊派出所に

▼訴へ出で たり派出所よりは伊藤上等兵直ちに犯人搜査の任に當り翌十日午前九時犯人野口龍三が桃山遊廓彌生町白水樓抱へ娼妓久子事木下たみよ(一九)を敵娼として遊興中を逮捕したるが强奪金を以て遊興中とせるが龍三は六十圓中四十圓を已に費消し二十圓を殘し居たりと

めでたき家庭
安商浩氏

◇鐘路の安商浩診療所長で[illegible]宮の典醫たる安商浩氏は朝鮮人で西洋醫術を學んだ一番始めの人である、この安商浩氏の家庭は目出度さが中にも就中目出度い家庭である夫人は磯子(三七)と云つて下關のお生れ、夫婦の間には五人の子寶がある。

◇安氏が磯子夫人と結婚したのは最う今から十二三年も前のこと當時安氏は折柄東京に御留學中であつた李堈公殿下の侍醫を承はつて居たその時の月下氷人は何でも前號に紹介した具警務官だとやら：爾來、花につけ雪につけ伉儷の惡暖かく所謂鷄も鳴かぬ圓滿さ

◇新夫婦が朝鮮に歸つて來たのは十一年前であるが、安氏には別に係累がなかつたので夫人は殊更に生活樣式を變へる必要がなかつた、此點は夫人に取つては非常に好都合だつたらうと思はれる。

◇夫人の美しい事は近所でも評判である、其故か大變若々しく到底五人の子の阿母さんとは受け取れぬ位、然も先天的に家庭的婦人に出來て居るのか、月に一二度本町へ買物にでも行く時の外は滅多に外出した事がなく常時も家に在つて子女の敎育に沒頭して居る。

◇子供は頭と末が女の子で餘は皆男の子、長女は目下櫻井小學校へ通つて居るが成績はなかく好い相な、學校に通つて居るのは今のところ長女だけであるが、兎に角子寶は多し地位、財產はある、安氏の家庭を目して目出度いが中にも就中目出度い家庭と云ふのは此處の事である。

◇詳し、安商浩氏の家庭は三拍子揃つた點に於て、內鮮人結婚者中一番成功した方であらう。(寫眞は安商浩氏夫妻と令息令孃)

◎煙草は品薄だが 値上げ等は絕對にない

歲末に際し市中に[illegible]、朝日級の紙卷煙草が品薄で年末贈答品其他の爲めに需要旺盛なのに對して充分なる供給がないと言ふ[illegible]から早くも其の拂底を見越し[illegible]元の値上げ等を豫想して

▲買占め をやつたり持品を態々庫へ仕舞ひ込んだりする奸商等があると云ふ之れも噂が流布[illegible]れて居て一般需要者は一方ならぬ迷惑を被つて居る樣だが[illegible]市場品不足の原因に關し[illegible]理事に其の樣な意味を語つて居る[illegible]近市場に朝日級、紙卷煙が缺乏して居るのは或は事實かも知れないが之は全く內地から仕向けられた

▲原葉の 到着が豫定の如く[illegible]うはさが流布したのだらう[illegible]ならず一般[illegible]て豫定通りに到着しない[illegible]ならぬのであるから[illegible]から發送された原葉が[illegible]は到着の筈であるから必ずや其不足を緩和することが出來るだらう[illegible]數日中には市場の品薄を救ふことが出來る筈である[illegible]の或る一部では煙草の

▲値上げ 等を見越して買溜等をして居る者もあるといふこともあるけれども會社では[illegible]値上げ等をする意思は絕對にない、この[illegible]を要するに[illegible]ないことではないのであらう

◎歲暮品は何がよい

◇貰つて嬉しいもの◇

贈物の籠入を持廻るのは考へ物ですよ最後にはた家こそ大迷惑で御座います半襟、帶揚げなども好みがありますから直ぐに役に立つことは少くて遂に遺物にして了ふ事が多う御座います先方の暮し向き如何や一人物と世帶持に依つて異なりますが

▲中流社會 の贈答は矢張り裝飾品よりも實用品が宜しく物品よりも食物が宜しいかと思ひます菓子よりも砂糖、鰹節、醬油と云ふ物が一番宜しいかと思ひます[illegible]品が喜ばれるのではありますまいか同じ菓子にしても西洋菓子干菓子よりも生菓子殊に水菓子が平素高價で成るべく買はぬやうにしてゐますから貰つたのを幸ひに頂くと云ふ事もありませうと某婦人は熱心に語る家具類は幾らあつても良いものですが詰らぬお盆ばかり溜つたり尺が十本も廿本も溜つては

▲困ります 風呂敷は幾らあつても重寶なものですがハンケチなどは幾らあつても結構なものですし履物、シャツ、ズボン下、ネクタイ、石鹼などは可成重寶なもので御座います近頃贈答品の表裝に工夫を凝すやうになりましたが中身が少いのに箱が山のやうに溜つたり粕漬の大きな瓶が幾つも殘つたりすると少し迷惑します矢張『貰ひ物は菓子より砂糖、生魚より鰹節、何よりも金』と古人が穿つてゐますよ然し如何に現代でも金では無愛想ですから切手全盛の世の中になりました。

◎冬の洗濯物

◇其日の天候や寒氣の强弱を確かめて

▲冬は太陽の 照射時間が短く熱度も低い譯ですから洗濯物は餘程手心を用ゐぬと乾き惡いのです殊に冬物にはネルとか地質の厚いものが多く洗濯するにも手が折れますが從つて乾く度合等も手取早く行きませんメリヤスの毛物などになると二日も三日も竿に吊るして乾かぬ時もあります

▲それで洗濯 の前には其日の天候や寒氣の强弱を確かめて取掛らねばなりません尤も冬は晴れた日が多いやうですが時に日和とか黃日和とか云つて朝は上天氣でも俄に雨や雪に襲はれる事がありますから[illegible]落着の秋日よりも早い冬の日はぢき暮れてしまひます

▲乾きを速く する點に於ては洗濯の際出來るだけ固く絞つて水氣を充分除つて置かねばなりません細付などに嚴しくして置く必要があります糊の厚いのはやはり夫だけ乾きが遲くなる道理です

▲よく家庭で は火に炙つて乾かしたりなどせられますがこれは火力が全體に行屆かないで乾いた所と乾かぬ部分とが出來て面白くありません又寒い日などには洗濯物が凍付いて一旦乾いたやうに見わて濕りを持つて居ることがありますから取仕舞ひの時に手で觸つて試すことを忘れてはなりません假令洗濯物が乾かずとも夜間は家內に入れて置く方が宜いやうです

▲薄い地質の 間戰なもの假令ば洗ひ張り物などが若し乾き切れなかつた場合には夜間の電燈の光力を利用して乾かすのも一策です洗ひ張り物の乾かぬ部分へ張板から斜がすか又は張板そのまゝを立て掛て電燈の光りを近付けて置けば其の熱度で大概の乾き殘りは翌朝迄に乾き切つて居ります

▲ハンカチーフ などの手輕なものは洗つて電燈の笠へ引掛けて置けば譯はありません然し此頃の電燈のやうに光力が弱くては困りますが光度の强いほど乾きの速いことは云ふまでもありません(某家庭實驗談)

讀者文藝 (一等には五十錢の郵券を呈す)

▲川柳題『手』

(一等) 手の筋をよく見る奴が食ひ損ね　仁川本町四丁目日下部方　矢谷詩胸坊

▲知らないに利きすぎるのの手　京　秋山生

▲袖て手を下ぎ暇が減り　京城　蓬萊生

▲子供の目に背に光りに光り　京城　[illegible]

◎●●●茶目義太忘年會

素人淨瑠璃界の粹人として知られし冠笑、南水、柳君の顧問、太棹彼舞助、愛次、三郎、喜升、玉亭等の發起で十四日午后一時より料亭梅の家で茶目義太忘年會を催すが由なるが當日出席者は各自十八番の語り本を持參し發起人の三味で中段づゝ語り夜に入つて懇親會の中一段太夫以外隱し藝を出し大に茶目振りを發揮すると尙平素公開の場所で語らぬ連中が天狗の出席多數の由なれば定めて見物なるべし

故鈴木校長吊慰及獎學資金寄贈者名
第五回

一金五圓　黃金町二丁目　高居淵三郎
一金拾圓　若草町　山崎鹿藏
一金參圓　同　山崎ユキ
一金貳圓　同　山崎眞一
一金壹圓　江原道平康郡　宮崎善次郎
一金參圓　櫻ケ町　板倉光秀
一金參圓　宮部信一
一金拾圓　本町四丁目　石橋久太郎
一金五圓　安東　ふくもと
一金拾圓　朝鮮精米株式會社　天日常次郎
一金壹圓　南米倉町　佐藤ミヨ子
一金拾圓　郡官練習所　松井信助　玉川謙吾　古賀國太郎　朴在洙　南基允　杉田品吉　宮田弘　吉田淵　渡邊正勝　廣居新藏　澁谷雄一　吉武雄一　奥世尹
一金參圓　全羅北道群山公立普通學校　職員一同
一金貳圓　[illegible]　官坂サダ子
一金壹圓　黃海道沙里院尋常高等小學校　梅田敏子
一金壹圓　梅田登三
一金五拾錢　吉野町　一葉
一金壹圓　[illegible]城外　一瀨千里
一金五圓　黃金町二丁目　喜多宗一
一金參拾五圓　善隣商業學校　職員生徒一同
一金九圓　松村和康
一金五圓　[illegible]　岡本惠三郎
一金參圓　渡邊鷹次郎
一金貳圓　大石善尊
一金一圓五十錢　相場清
一金壹圓五拾錢　武田卓爾
一金壹圓　相內長吉
一金壹圓　河井正信
一金壹圓　高木國則
一金壹圓　東忠紀
一金壹圓　福田萬左衛門
一金壹圓　鄭雲復
一金壹圓　佐々井寬
一金壹圓　田賀佐太郎
一金壹圓　田中八十八
一金壹圓　金秦錫
一金五拾錢　尹秉綸
一金五拾錢　飯田忠五郎
一金五拾錢　淺井甚三郎
一金五拾錢　大浦愛邦
一金五拾錢　吉崎滲美
一金五拾錢　鈴木喜久治
一金五拾錢　石田源太郎
一金五拾錢　吉富道三
一金壹圓　安淳煥
一金拾圓　京城武晶町　須川久彥
一金五拾圓　[illegible]　相澤しのぶ
小計　金貳百參圓五拾錢
累計　金壹千六百五圓八拾貳錢

夜勤給仕入用
本社編輯局夜間勤務給仕一名入用(但し當地に父兄無き者は相當の身元引受人を要す)
京城日報社

兵庫期米
十一日前場
寄付　三八、〇一
高値　三八、四二

大阪株式特電
寄付 [illegible]　三七、九〇
高値　三九、七五　三八、〇四　三七、九九
安値　三九、六五　三七、七〇　三七、七〇
止め　[illegible]　三八、〇〇　三七、九四
大阪商船　一八〇、四〇
同新　……
日本郵船　二〇〇、九〇
同新　一〇五、四〇
寶島　……

大阪安移りに再び下押し遂に四十九錢崩れ六十二錢と引返へし前[illegible]に大激戰を演じて散會せり

平均　[illegible]
一番　三[illegible]
二節　三[illegible]
三節　三[illegible]

北島春石作　森田久畫　四十九

情の袖(三)

直樹は憮然として腕高に腕を組んだ。

『一匹の駒が狂へば千匹の比喩ぢや！お蕊と云ふ醜婦の濁れる愛に溺れ、雅巳の心が狂ふたばかりで、何處までその惡影響が傳はるか知れん。愍うして、貴女が幸枝を想ふやうに、他の親も我が子を愛しんでくれたならば、天下は無事泰平、何の波風も立たずと濟むが、いづれも自我の事のみを考へ、それから總てを打算してかゝるで、善人はいつも惡人に依つて泣かされるのぢや。』

それを前提として、今日日比谷公園に於て觀菊中ゆくりなく耳に入つた佐久間詮一と淡紅子の密話の大略を繰返し、猶その胸組を解きもやらず

『最初はさうとも氣が注かず、貴女を再縁させんとする先方は聞き洩したが、伊豆の伊東やらへ轉地療養中と欺き、高松が一萬圓の金を借入れたは確實ぢや。さすれば、今までとは違うて、草を分け瓦を起してもその行方を探し出さねば置くまいと思ふが、この際貴女の考へも聞かせてくれい。』

『……はい。』と答ふる聲も細々と暫時は獃にやつれし面をあげ得ずに志保子は力なき歎息を洩らす外なかつたが『叔父樣のお見込み通りだらうと存じます。惡人と申すほどではございませんが、以前から自儘本意な氣質で、自分さへ好ければ他のものは何うならうと構はないと云ふのが、父として何よりの缺點かと存じます。もう長い間を兜町や蠣殼町へ出入をいたし一時は大層儲けたやうにも聞きましたが、その後はずつと落目つゞき、唯今では中洲の家も持切れないやうな有樣。そんな事から怖ろしい惡謀を致したものと思はれますが……それはどうごんな事をしても、乾度わたくしを探し出さうと騷ぐに極つて居ります。』

『で當人の考へでは、その一萬の金を以て、もう一度成金の夢を繰返す意で居るらしいが、不正不義を以て摑んだ金が、何として彼の懷中に温まつて居らうか。俺は今始めて佐久間詮造に弟のあるを知つたが、貴女のためには異腹の義妹――即ち淡紅子と其奴とはいつの間にか密通をなし、彼の一萬圓を橫領し、朝鮮へ高飛びせんと企てゝ居る始末。いやはや、近頃は物騷千萬、實に油斷も隙もならぬ世の中ぢやて、貴女も十二分に心を締てかゝらねばならん。』

『その御注意までもございません……』と、深き決心を示せ顔に『最早上の家を去られてより三年の間に、そつと寢間を拔出して、星暗き中洲の河岸に佇んだのも二度三度……何故今まで死なずにゐたかと申せば、幸枝を片親にいたすのが不愍さばかり。それが、叔父樣の厚いお情で、懸うして親子が同棲されるやうになれたのでございますもの。この先、いよ／＼と身が詰まりましたなれば、冷たい水の底へ住家へ替へませう。寢た間もその覺悟を忘れずば、決して悲しむにも嘆くにも當るまいかと存じられます。』

『うむ！そこぢや。』始めて腕組を解いた直樹は、ぽと小膝を打つて、『見上げた覺悟――立派な決心ぢや！さうまで心を堅固に持つとすれば、今日までの世話甲斐があつたと云ふものぢや。その後、暫く岸上へも顔出しせんが、兩三日中に早稻田へ押し掛け、それとなく貴女の貞節心を語り聞かせ、雅巳の迷ひの夢を醒まさせてくれやう。』

『何分にも……』と、志保子は眼にもつ涙『お情の袖にお縋りいたします。』

新刊紹介

▲科學世界(一二の四) 科學に關する有益なる記事多く科學者敎育家等の好資料を蒐む(三十錢東京本鄕湯島四の八北社)

▲婦人畫報(一二) 洗厓[illegible]の口繪外入論は巧にアフセツトを利用して[illegible]色版となしたるものにて[illegible]人を魅するの概あり其他原色版アートタイプなど多數あり[illegible]物も亦家庭向き婦人向きの價値ある記事を滿載す(四十錢東京[illegible]東京社)

▲長原簿(博文館出版) 一家の財產收入、家系、祭祀、家人、關係者其他必要なる記錄を記入すべき簿冊なり貧乏人には餘り用のなきものなれど資產家にとりては絕好なる記錄簿なるべし(一圓六十錢東京博文館)

▲現代の圖案(一輯)(五五) 新年號として發行されたるもの圖案工藝家の坐右の珍とすべき模範的彩色版及び石版寫眞等十三を添へ記事も斯界の好資料たり(三十五錢、東京赤坂區山南町二の四〇北社)

○反動來の株式 概ね氣迷狀態

て東株は八十圓臺に暴騰を演じ諸株は非倒に郭勝するに至らざりしも……暗示し買方の利喰續出と共に相場……漸落步調を呈せる折柄米國の輸出……數圓方下落し殊に製鐵株化學工業株製紙株等は其悲觀の程度も深く……分は屏息して悲觀人氣の旋行を來……さんとする傾向なきにあらず併し……出來るに於ては諸株尙下落を免れ……さる情勢なれども破綻……米取引所株に大相場あるべきを想……も先月中旬後の活躍の如き其人……り一概に悲樂を斷定し難きと共に株式の波瀾も亦自から複雜多端なるべしと豫想せらる（東京）

▲汽船や紡績等の人氣

懸案に關連せる諸株……

文藝 課題及び募集規定

募集規定 ▲用紙ははがき又は同形の用紙一枚毎に一題……姓名の外に住所氏名明記の事

お正月に無くてならぬ

歲暮に一等 仁丹の贈答品

贈つた人も安心
贈られた人は大ニコ〳〵
されば今年も

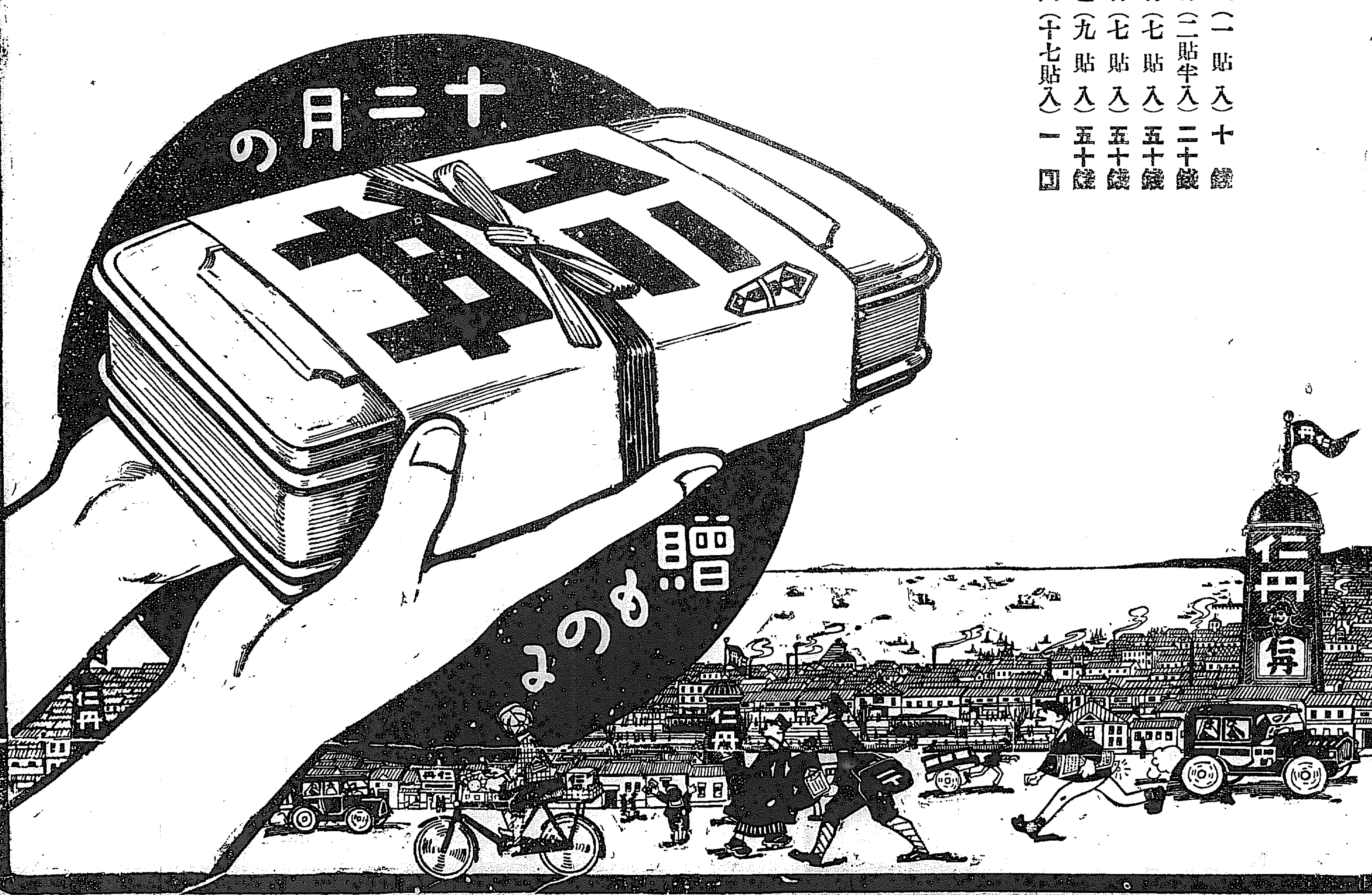
是非とも 歲暮用に 仁丹 を活用遊ばせ

極月の奮闘に仁丹……活氣旺溢
劇務の疲勞に仁丹……元氣回復
繁忙な應接に仁丹……頗る愉快
歲末の家庭に仁丹……一家ニコ〳〵

金言

強き信念は凡人を偉人に化す　シヨー

不屈の努力を以て汝の目的を追へ　コリー

進物用 仁丹の買方

▲薬量（一貼入）十錢
▲名所カード金言容器付（二貼半入）二十錢
▲四季容器付（七貼入）五十錢
▲本形容器付（七貼入）五十錢
▲德用包（九貼入）五十錢
▲桐箱入（十七貼入）一圓